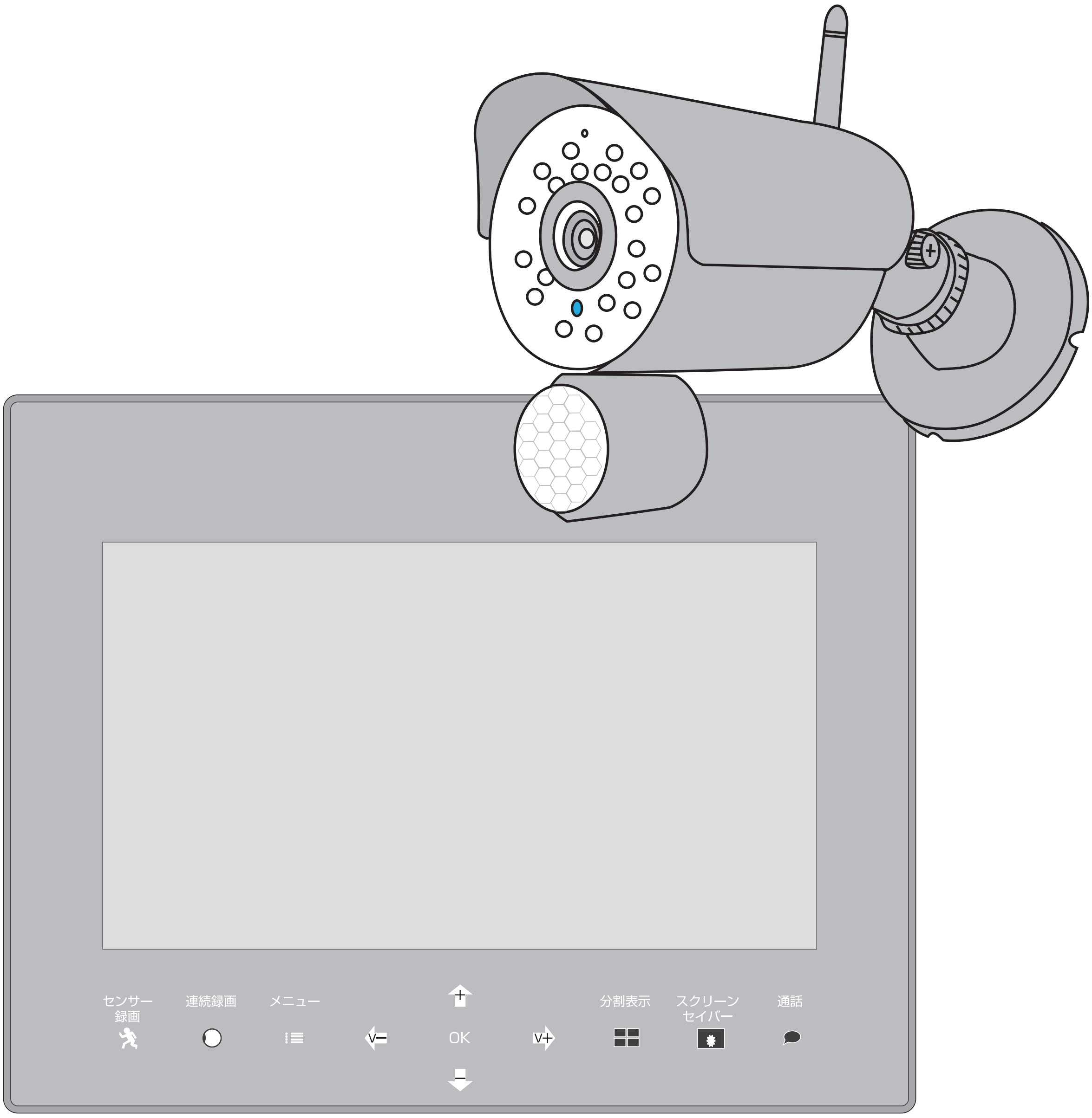
4CH ハイビジョンワイヤレスシステム
モニター&カメラセット

502G4

らくらくeye cann（アイ キャン）



NS-9015WMS

取扱説明書（保証書付）

日本セキュリティー機器販売株式会社

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

警告	この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。	**禁止**	してはいけない内容です
注意	ここの注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。	**実行**	実行しなければならない内容です

警告

禁止

■分解・改造・修理はしない

火災、感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない

（発熱、発火、発煙、異臭、異音がする）火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 以下での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴ったら本体や AC アダプタに触れない

感電の原因になります。

■AC アダプタ、コードなどを破損しない

（傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど）傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。電源プラグや AC アダプタ、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。

■水をかけたり、ぬらしたりしない

火災、感電、けがの原因になります。

■AC アダプタ、コードに水をかけたりしない

感電の原因になります。ぬれた場合は、すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて販売店にご相談ください。

■医療機器の近くで使用しない

医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

■低温・高温・高湿度の場所に設置しない

40℃以上の高温または高湿度、0℃以下の低温 (モニター)、-10℃以下の低温 (カメラ) の場所に設置しないでください。動作不安定や故障の原因となります。

注意

実行

◇**機器の重量などを満たす強度で設置する・・・・・**落下などにより破損やけがの原因となります。

◇**取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る・・・**感電の原因となります。

⚠ 警告

実行

◇異物が入ったときは使用を中止する

火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて販売店にご相談ください。

◇落としたり、破損したときは使用を中止する

そのまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

◇電源プラグや AC アダプタは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

◇電源プラグや AC アダプタのほこりは定期的にとる

プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。電源プラグや AC アダプタを抜いて、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

禁止

■不安定な場所や振動の多い場所には設置しない

（ぐらつき、傾きのある場所）落下などにより破損やけがの原因になります。

■湿気の多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない

（風呂場、台所や水まわり）結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露（水滴）が発生しやすくなります。

■高温になる場所に設置しない

（直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボードなど）機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。

■ヒーターなどの熱器具の近くに設置しない

コードが溶けて火災、感電の原因になります。

■埃の多い場所に設置しない

火災、感電の原因になります。

■機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない

落下物などにより破損やけがの原因となります。

■コードを引っ張らない

電源プラグや AC アダプタを抜くときはコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

■電子レンジの近くで使用しない

無線通信への電磁妨害が発生します。

■心臓ペースメーカの近くで使用しない

ペースメーカの動作に影響を与える場合があります。

電波について

無線に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

電波最大到達距離

電波最大到達距離の**見通し150m**は、周囲に電波の障害物や電磁波ノイズが少ない屋外における見通し環境での実測結果です。木造の建物での電波到達距離 20 ～ 40m ほどですが、カメラ（送信機）と受信機の間に障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、土壁、金属線入りのガラス、断熱材）があると、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離は短くなる場合があります。
電波の到達距離は使用環境・設置環境により異なります。

その他のご注意

本製品は 2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機や他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

●電子レンジから距離を離して設置してください
目安：2 ～ 3m 以上　電磁レンジなどを使用中は映像や音声がとぎれることがあります。

●無線 LAN 機器（WiFi ルーター、AV 機器、WiFi を使用した PC など）を使用している環境で本機を使うと、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります（これらの無線機器は電源を入れた状態で電波を発信しています）。

●無線機器の映像信号は設置環境や気温・天候などに影響を受ける場合があります。

設置環境からの影響について

ご使用の際、下記の影響を複合的に受けた場合、機器の仕様（耐久性）の限度を超える場合があります。
設置の際に配慮をお願いします。

・直射日光などの影響
・夏の高温などによる影響
・降雨、強風、突風、台風などによる影響
・冬の低温、湿気、結露などによる凍結、積雪などによる影響
・塵、ほこり、土、砂などによる影響
・海風などによる塩害の影響
・虫や動物、またそれらが出す有機物（糸、毛、抜け殻、糞、尿、体液）による影響
・熱源などによる影響
・特殊環境による液体や気体などによる影響
・その他機器に有害な影響を及ぼすもの

プライバシー、肖像権について

本製品の設置や使用は、ご使用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮の上行ってください。

その他

本製品は、電波法に基づき工事設計認証を受けていますので、以下の行為を絶対におこなわないようにお願いします。

・分解や改造
・本製品に貼り付けてあるラベルをはがしたり、改ざんなどの行為
・日本国外での使用。

Ⅰ．必ずお読みください

●本製品は、監視防犯をはじめさまざまな映像を録画する事を目的とした装置ですが、すべての映像を監視する事を保障したものではありません。
機器の不具合によって映像が録画されていない場合、弊社および販売店では責任は一切負いません。あらかじめご了承願います。

●本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するものではありません。

●本製品で録画した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害する事があります。映像を活用する場合は注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いません。

●本製品の記録媒体に使用しております SD メモリーカード (サイズ : 縦 32mm× 横 24mm× 厚さ 2.1mm) は、振動、外的衝撃などの物理的耐久性、電源の入り切り、停電からの復旧による突入電流などによる電気的耐久性が低く、永久的に使用可能な媒体ではありません。長期使用により書き込みエラーが発生しやすくなり、寿命に至ります。大切な録画データを破損、損失させないためにも機器周辺温度を 20℃以下に保ち、定期的に SD メモリーカードを交換することをお勧めいたします。

内蔵バッテリー取扱上の注意

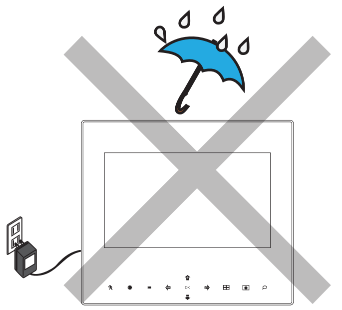
・お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、お買い上げ直後だけでなく、使用によりバッテリー残量が著しく少なくなっている時は、AC アダプターにつないで充電を開始してください。

・使用中にバッテリーが異常に熱を持ったり、膨張したり、液漏れしたり、異臭や煙などを発した場合は、直ちに使用を中断し、販売店にご相談ください。なお、上記のような症状がみられた場合は、以後絶対に使用しないでください。

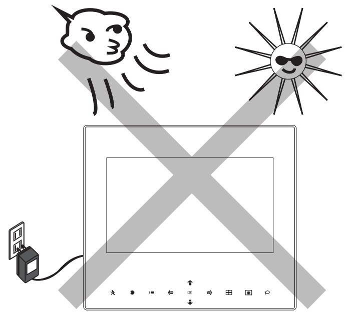
・バッテリーは消耗品です。使用を繰り返す毎に再生可能な時間は徐々に短くなります。

・保管場所にご注意ください。直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火のそば、ストーブの近くなどの高温になる場所や、風呂場、洗面所、台所などの湿度の高い場所での使用や保管をしないでください。
保管に際しては、本体から電源アダプターを取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。

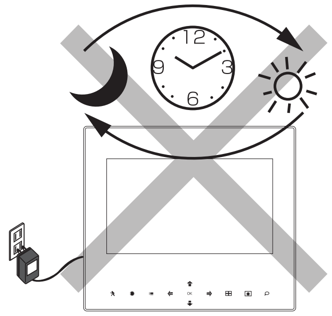
・バッテリーを含む本製品の廃棄は、お住いの自治体で定められている方法で正しく行ってください。



屋外での使用



過酷な環境



長期に亘る放置

本製品の無線技術について

当製品は 2.4GHz 帯を使用した「高度化小電力データ通信システム」で電波法に基づく基準認証を受け、総務省令で定められた [技適マーク] を取得しております。

工事設計認証番号　NS-015W カメラ　Ⓡ204-520010

NS-90WM モニター　Ⓡ204-520011

SD(SDHC) カードについて

一般的に SD カードは消耗品として位置づけされており、長時間の保存としては十分な媒体ではありません。必要なデータ（証拠映像など）は他の記憶媒体にもバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。

万一故障や不具合が発生し ,SD カードのデータ損失や機会損失があった場合、その補償についていは弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。

音声について

本機はハウリングやノイズを発生する場合がありますので、下記の方法をお試しください。

ハウリング

◦モニターのボリュームを低くします。

◦カメラとモニターを離します。

ノイズ

◦カメラアンテナ、モニターアンテナの向きを調整します。

画面の焼きつき

長時間変化のない映像（動きのないカメラ映像）を画面上に表示させたままにするとモニター画面に残像（焼きつき）が残ってしまう場合があります。確認の必要がない場合はスクリーンセーバー機能をお勧めいたします。

以下のような症状は故障ではありません

夜間撮影について

◦暗所撮影の赤外線機能は若干の個体差があります。

◦夜間撮影時は昼間の映像に比べてノイズが多く、被写体や周囲の明るさで映像品質が異なります。

アンテナの向きの説明

◦設置場所の電波の状態が不安定な場合は、機器の設置位置を移動したり、アンテナの向きを調整する方法をお試しください。

・カメラとモニタの直線上に壁が少ないとつながりやすいです。

・カメラ用アンテナを下向きにすると改善される場合があります。

注意

◦無線機器の映像信号は設置環境や気温・天候などに影響を受ける場合があります。

再生上の注意

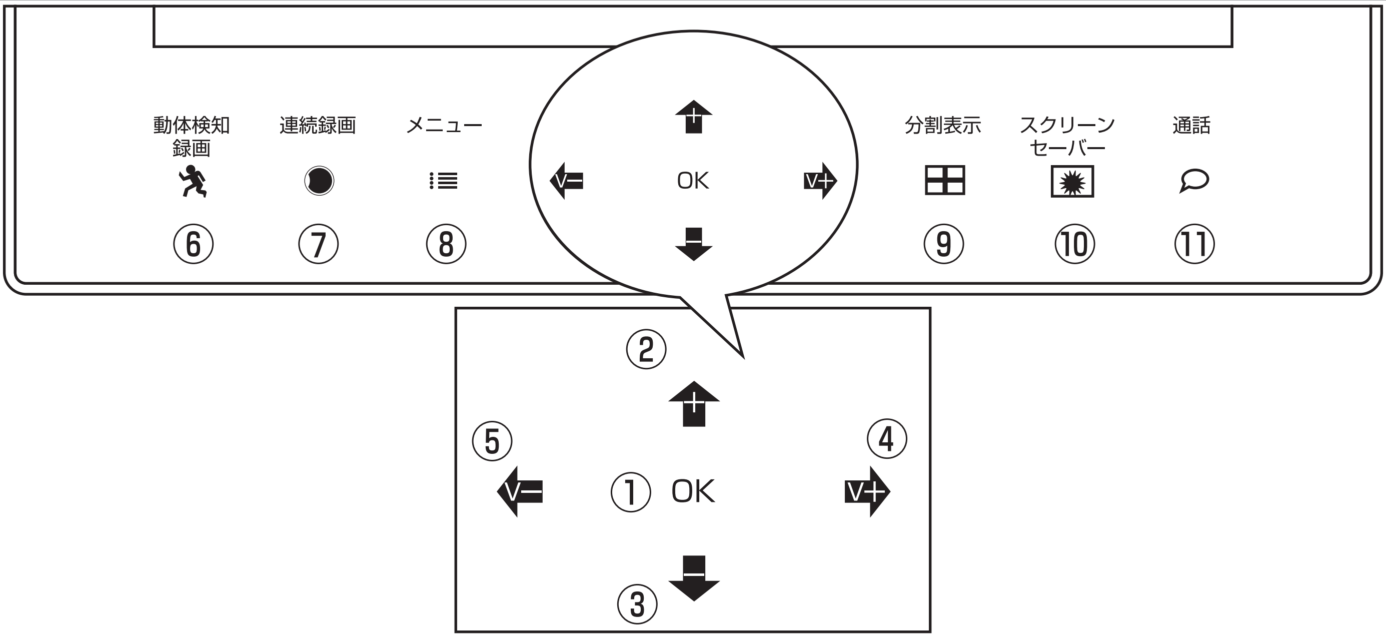
◦録画時の電波の状態によっては、再生画像が止まって見える場合や、映像が乱れる場合、音声が途切れる場合がありますが、異常ではありません。

◦動かなくなったりする場合

・AC アダプタの抜き差しをしてください。

カメラ映像の切り替え

◦cam1 から cam4 まで、ライブ映像を切替える際、アイコンをタッチしてから映像が表示されるまで、1 ～ 2 秒程時間がかかります。

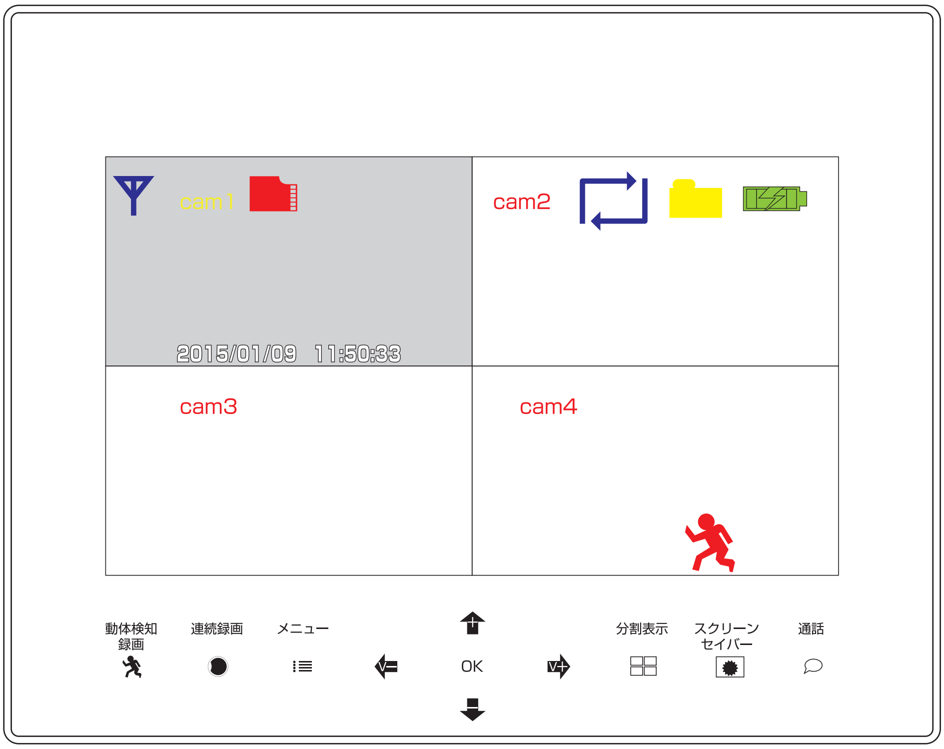


①	ＯＫ	決定ボタン ライブ映像時、「再生」⇒「再生リスト」へ移動	P50 （再生）
② ③	＋（上矢印） －（下矢印）	上下移動ボタン	－
④ ⑤	V＋（右矢印） V－（左矢印）	左右移動ボタン／音量調整ボタン	－

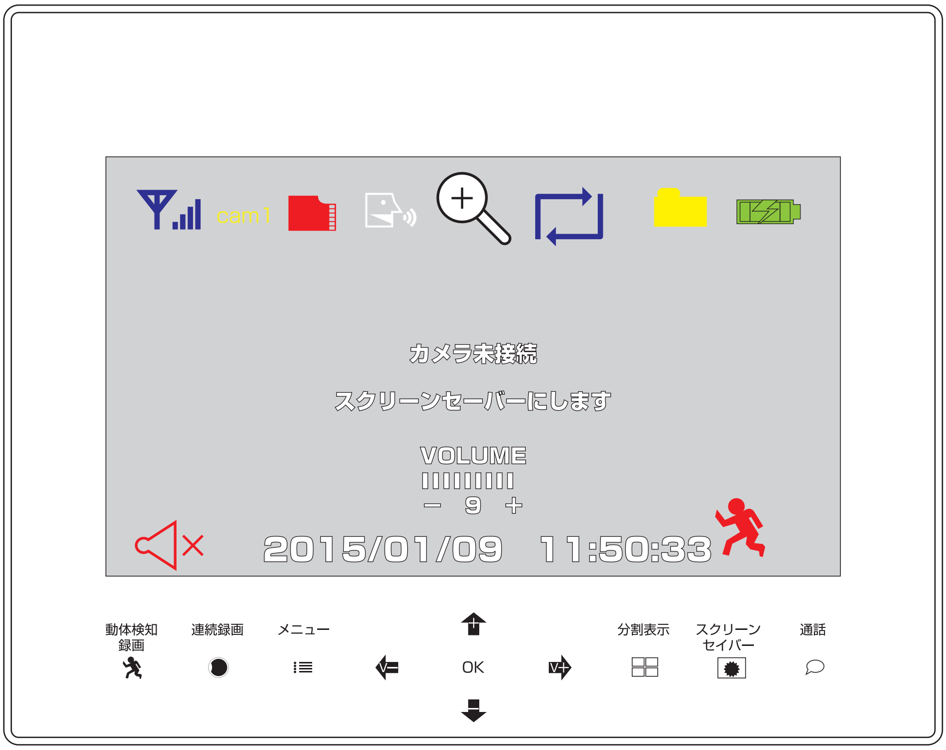
⑥	動体検知録画	動体検知（モーション、人感センサー）録画　オン／オフ	P24
⑦	連続録画	連続録画　オン／オフ	P25
⑧	メニュー	メニュー画面の表示／前画面へ戻る	P26
⑨	分割表示	4分割／シーケンシャル　※1	P54
⑩	スクリーンセーバー	スクリーンセーバー　オン／オフ　※2	P55
⑪	通話	短画面の時、後面のマイクから会話ができます。	P56

※1 シーケンシャルとは、cam1 からcam4 を1画面ずつ数秒毎(本製品は4、5秒です。)に切り替えて表示する機能です。
※2 スクリーンセーバーとは、映像に変化のない時にモニターの画面を非表示にするものです。

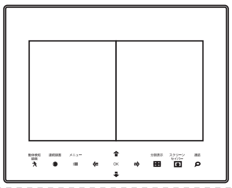
＜４分割画面の場合＞



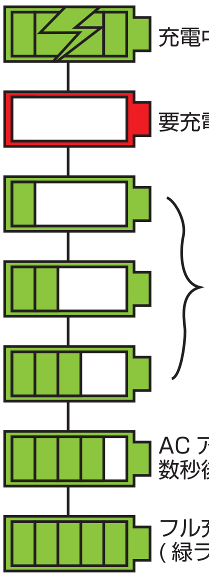
＜単画面の場合＞



ー画面に表示されるメッセージー
「カメラ未接続」：カメラが接続されていない時に表示されます
「スクリーンセーバーにします」：スクリーンセーバーのボタンを押した時に表示されます
他、その状況に応じてメッセージが表示されることがあります



ご購入直後は２分割で表示されます。P46 を参考にお客様が設定を変更された場合、以後その内容が維持されます。



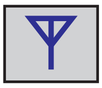
充電中

要充電な状態

バッテリー残量

AC アダプターを抜いて数秒後に表示

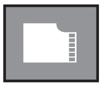
フル充電（緑ランプ点灯直後のみ表示）



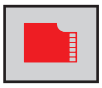
電波状況が悪いです
※電波状態が悪いと時計表示（進み具合）が遅くなったり、早くなったりします。

電波状況が一番良いです

お話しできます（背面のマイクに向かって話します）

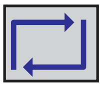


白いファイル
SD カードが挿入されました

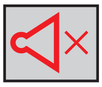


赤いファイル
SD カードがいっぱいです

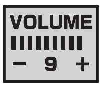
黄色いファイル
新ファイルが作成されました



上書き録画中



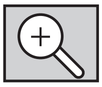
消音（ボリュームを０にした時、表示されます）



カメラから聞こえる音量を「0」～「9」より調整します。

録画中 (SD カードがいっぱいの時は、上書き録画設定でなければ表示されません）

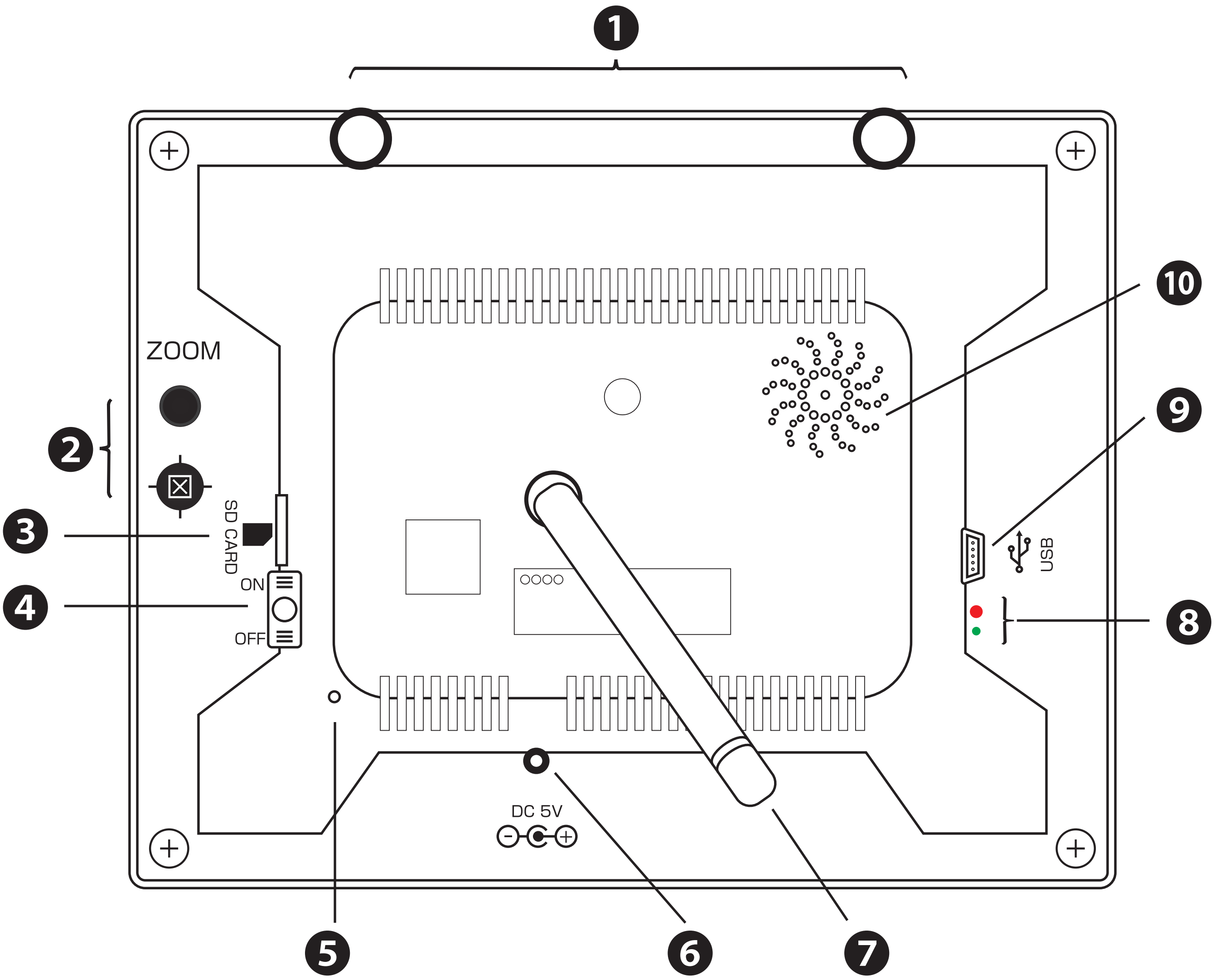
動体検知（モーション、人感センサー）録画中



ズーム機能 (VGA 再生時のみ）

cam1　黄色：カメラ接続中

cam1　赤色：カメラ未接続、非表示、不認識の場合



❶	アンテナ取付部	アンテナ取付部
❷	ZOOM+ スティック	単画面ライブ映像（VGA 解像度時）を拡大できます。
	スティック	左右に動かし再生時に早送り、巻戻し、ページスキップ、押す→左右に動かすで録画ファイル毎に削除ができます。
❸	SD カード挿入口	SD カード（録画・録音用）を挿入します。
❹	電源スイッチ	スライドで入り切りします。
❺	マイク	ここから話すとカメラ側から声がでます。
❻	AC アダプター接続部	AC アダプターを差し込みます。
❼	スタンドバー	手前にひいて、本体が立つように調整します。
❽	電源ランプ	緑：充電完了　赤：満充電ではありません。
❾	ミニ USB	使用しません。
❿	スピーカー	カメラ側が話すと、ここから聞こえます。

❶ モニター用アンテナを、2 本取り付けます。(P15 参照)

❷

●	ズームのオン・オフ切替ボタンです。 このボタンを押すと、モニター上にズームのアイコン が表示され、ライブ映像が拡大します。もう一度押すとアイコンは消え、元の大きさに戻ります。
⊠	ズーム中にこのスティックで「上」「下」「左」「右」に動かすと、ライブ映像も「上」「下」「左」「右」に動きます。

※ズームはライブ映像の単画面時 (VGA 解像度に限る) のみ使用できます。

※再生時にズームは使用できません。

※夜間の暗視撮影時は、車のライト等でハレーションを起こす事があります。

❸ SD カードを抜き挿しします。(P17 参照)

❹ スイッチを入り切りします。(P20 参照)

❺ 単画面の時、カメラ側に向かって話す時に使用します。
前面パネルの「通話」アイコンを押している間だけ通話アイコン が表示されています。
アイコン表示中にマイクに向かってお話ください。(若干タイムラグがあります。)

❻ モニターと AC アダプターを抜き差しします (P18 参照)

❼ モニターを立てる時に傾斜角度を調整できます。(15 度～ 45 度)
スタンドバーを手前に引いたり、モニターの背に付けたり、お好みの角度に設定します。
※無理な力で回転させたり、引っぱったりしないでください。

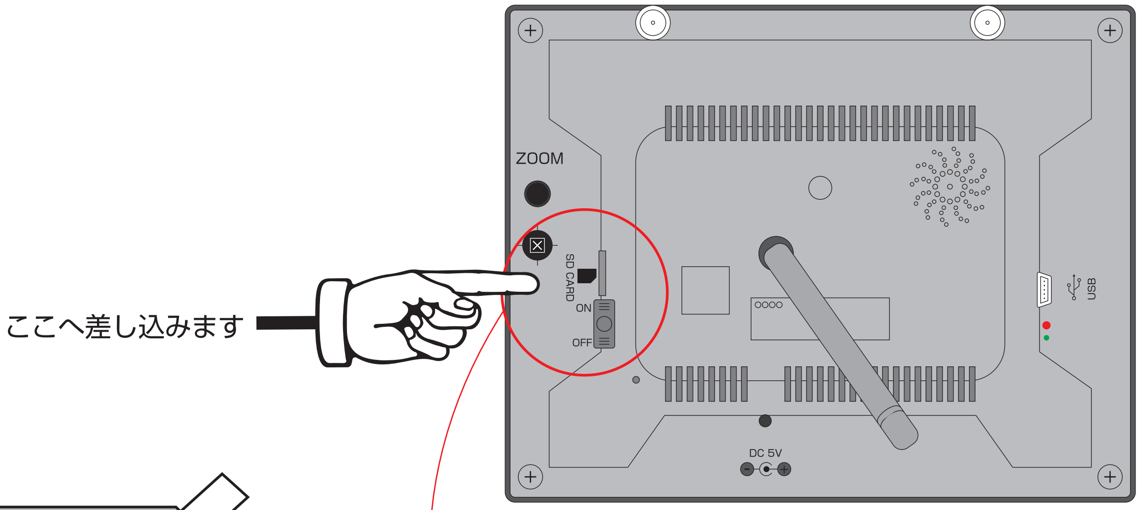
❽

上	●	充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。 AC アダプターが接続されていない時は光りません。
下	●	スクリーンセーバーをオンにすると点灯 (緑色) します。

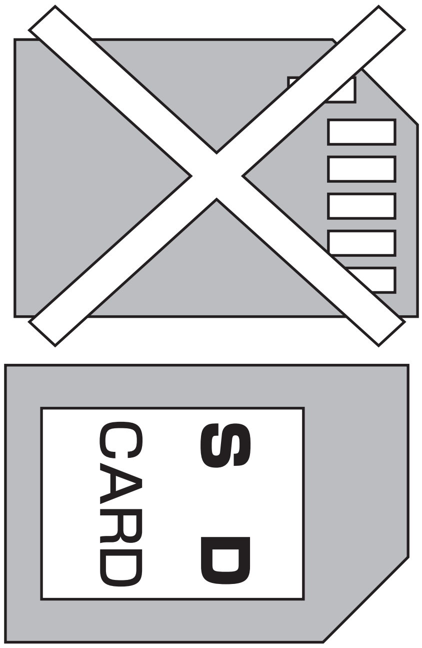
❾ 使用しません。

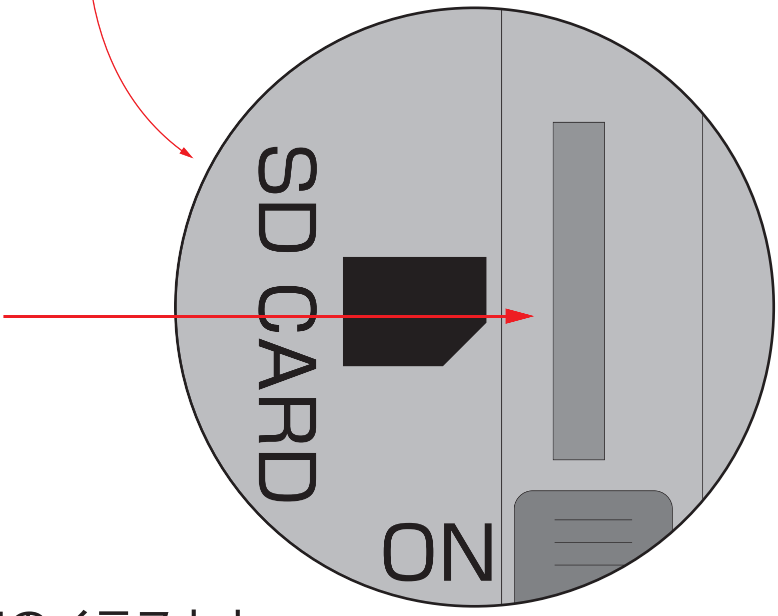
❿ カメラ側のマイクより音声を拾います。(若干タイムラグがあります。)
※そのカメラの単画面、ボリュームが「0」でない時に限ります。

③ モニターに SD カード (付属品ではありません) を
カチッと鳴るまで挿入します。



モニター背面図

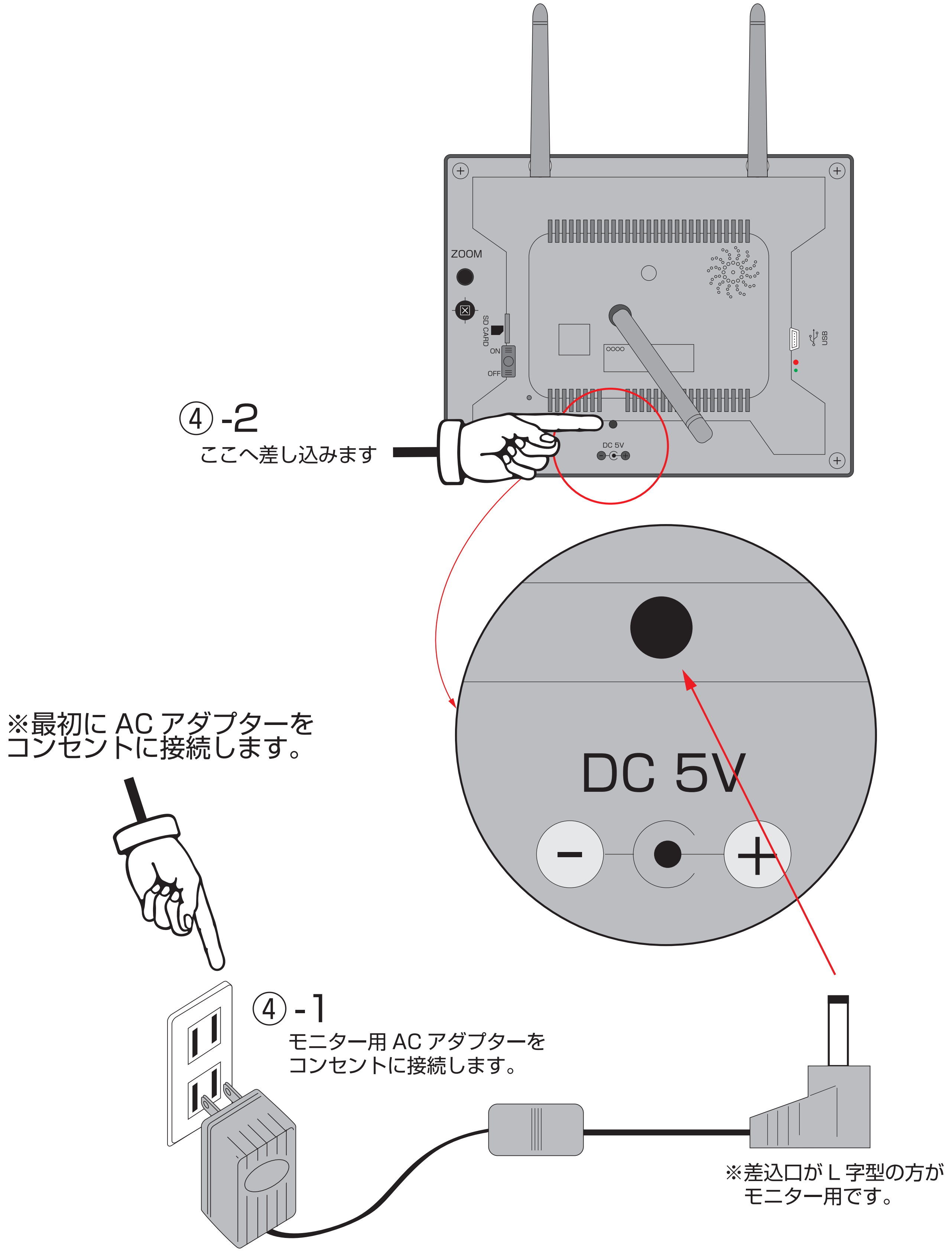




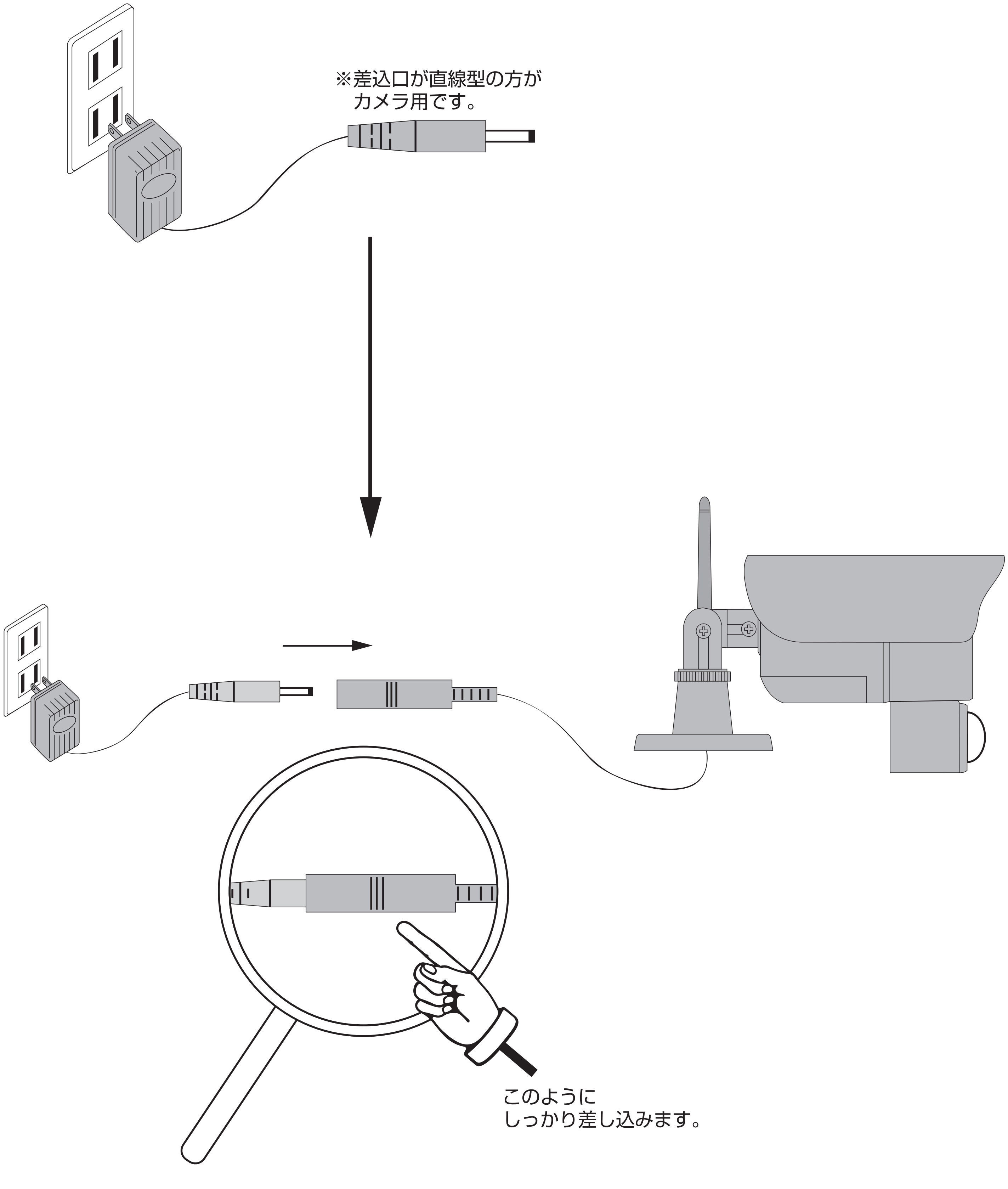
モニター背面左側に、挿入口のイラストと
同じ形になるように SD カードのラベル面側を向けて挿入します。
カチッと音が鳴ったら、手を離してください。
SD カードをフォーマットします (P28)

※SD カードを取り出すときは、SD カードを奥へ押して、直ぐ手を
離してください。
SD カードが 7mm ほど外へ出てきますので、そのまま抜いてください。

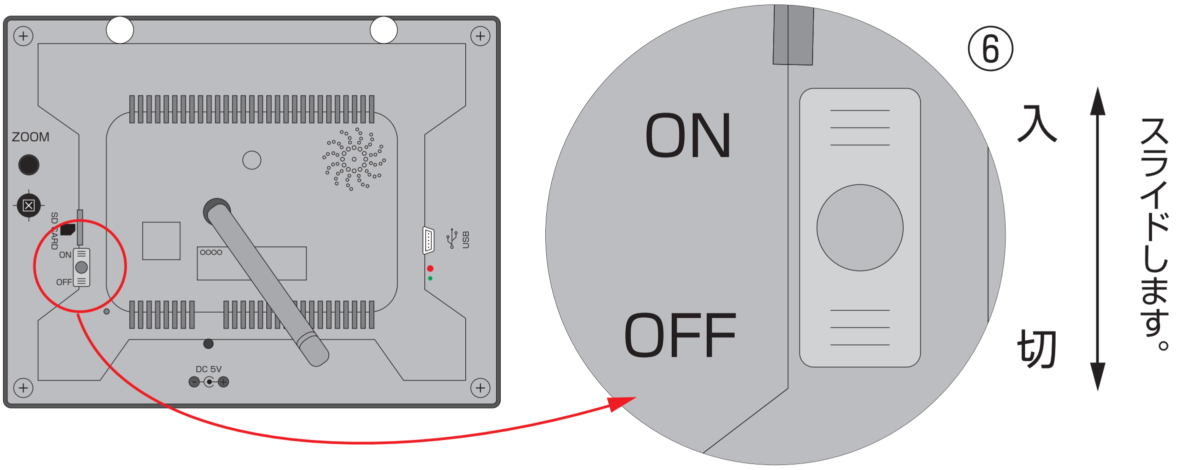
④ モニター用 AC アダプター (差込口が L 字型) を
コンセントに接続してから、モニターと接続します。

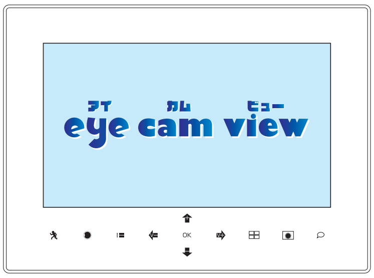


⑤ カメラ用 AC アダプター (差込口が直線型) を
コンセントに接続してから、カメラと接続します。

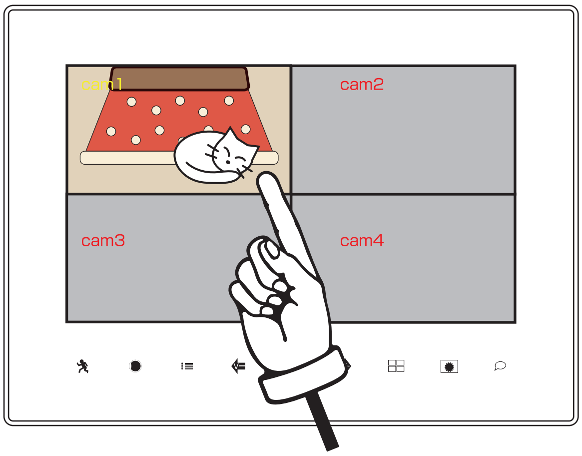


⑥ モニターの電源を入れ、
カメラ映像が映っているかを確認します。

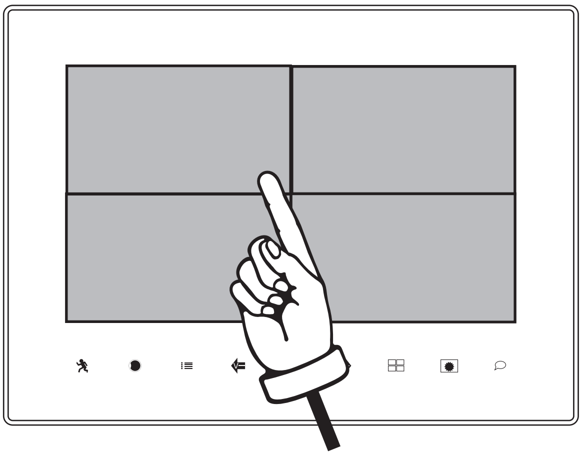




電源スイッチをオンにすると、
左記画面が一番初めに表示されます。
その後に映るライブ映像の画像は
少し荒れますが、数秒で綺麗な映像
に戻ります。



カメラで撮影している映像が
cam1 に映っていれば OK

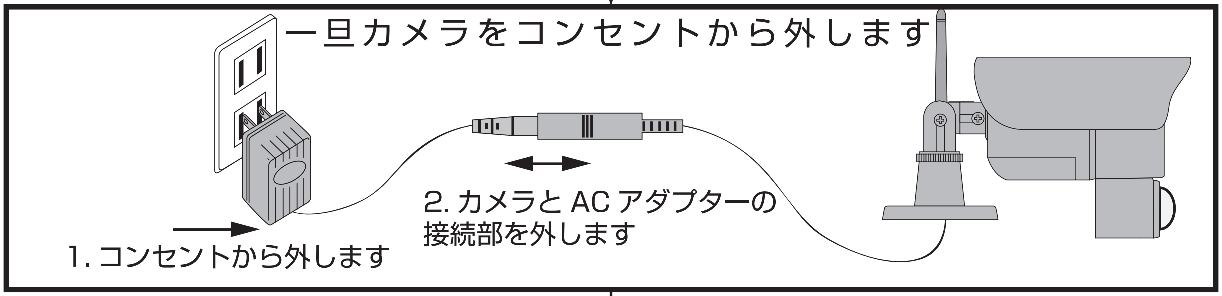


⑦ 何も映っていない場合
↓
P44 を参照しペアリング
を行ってください。

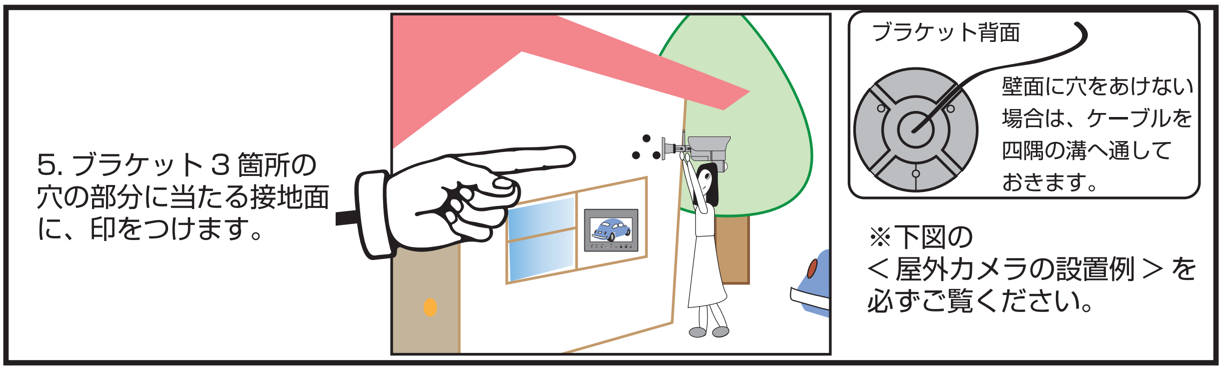
⑦ 映らなかった場合や増設用カメラ (NS-015W) を取付ける場合、
ペアリングを行います。➡P44 ペアリング参照

⑧ モニターの日時を設定します。 ➡ P26 日時設定参照

⑨ カメラを設置場所へ取り付けます。その１：設置場所を決める



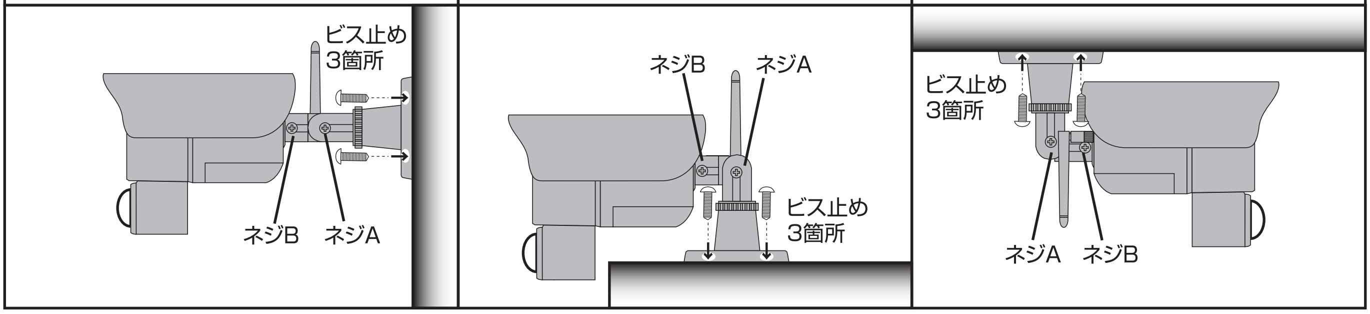
カメラ取付位置に印をつけます。



※本製品を長くご使用いただくため、軒下での設置をおすすめします。
※電波到達距離の目安は木造家で約 20 ～ 40mです。(P3「電波最大到達距離」をよくお読みになってください。)

＜屋外カメラの設置例＞

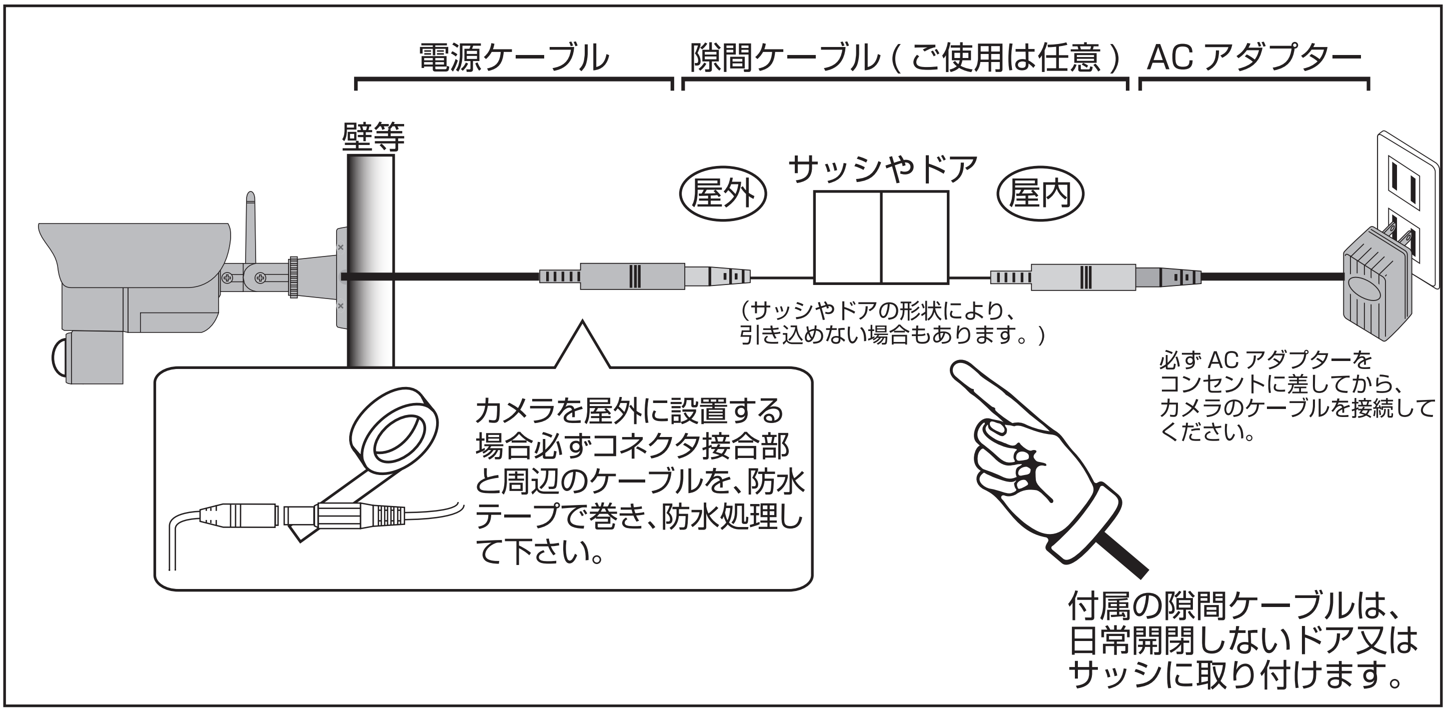
壁面に設置する場合	門袖等平面に設置する場合	天井に設置する場合



※本製品を屋外で長期間使用される場合、直接日光や雨により劣化しカメラの落下事故につながる可能性がありますので、 設置場所は安全な場所を選んでください。そしてカメラ設置の定期的な点検をお願いいたします。

1. 設置前に必ずモニターのそばで電源を入れ、映像が正常に映ることを確認して下さい。
(セットアップ⑥参照)
2. カメラ本体に付いている２箇所の「ネジ A」と「ネジ B」を少し緩めて設置を始めてください。
3. ご使用上の注意をお読みのうえ、設置場所 (上図参照) を決め取付金具を付属の取付金具用ビスで固定します。(設置する材質やビスの長さが付属のビスで合わないときは別途お求め下さい。
コンクリート壁面に設置する場合は、コンクリートビスを利用します)
「ネジ A」と「ネジ B」を軽めに締めて、ぐらぐらしない様にします。

⑩ カメラを設置場所へ取り付けます。
その２：配線・角度調整

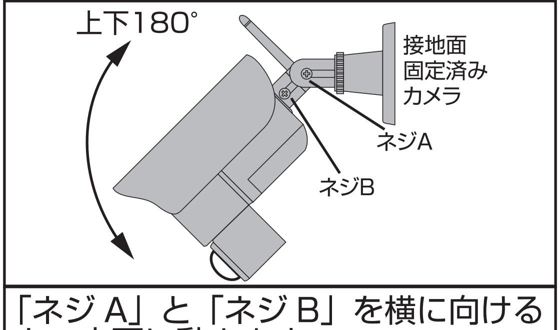


4. コネクター接続部に防水テープ (防水テープは付属していません。) を巻き、水滴が入らない様にして下さい。※(上図を参照ください。)

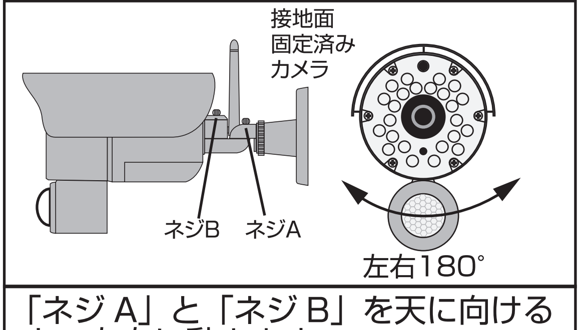
5. 電源ケーブルを屋内のコンセントまで配線して下さい。※(上図を参照ください。)

6.AC アダプターをコンセント (AC100V) に差し込み、カメラの電源ケーブルと AC アダプターを接続して下さい。電源ケーブルを加工しての延長はできません。電圧降下の原因によりカメラが正常に稼働しません。

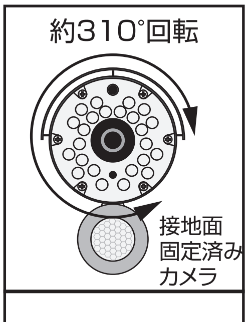
※隙間ケーブルで引き込めない場合は、通気口・エアコンダクト周辺の通し穴等を利用する、もしくはカメラケーブルのコネクターが通せる穴を貫通させてご使用ください。



「ネジ A」と「ネジ B」を横に向けると、上下に動きます。



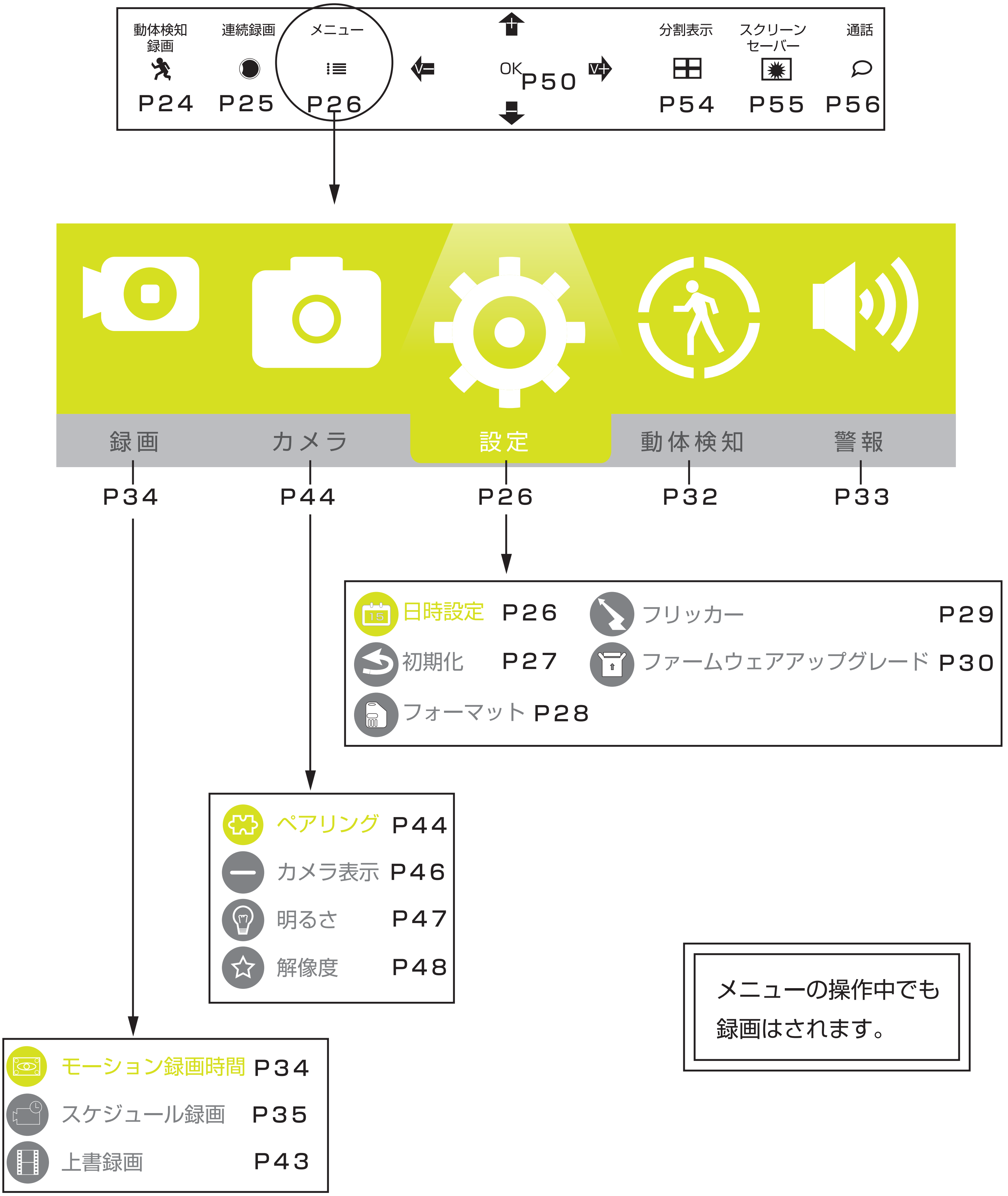
「ネジ A」と「ネジ B」を天に向けると、左右に動きます。



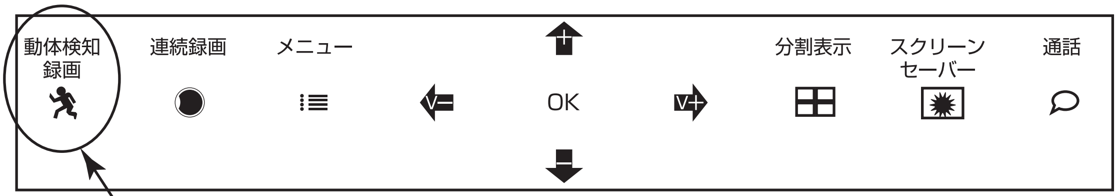
7 カメラの撮影方向 (カメラの向き) は、「ネジ A」と「ネジ B」を緩め、モニターに映しながら「上下」「左右」「回転」で調整します。(上図参照)

8. 位置決定後、確実にドライバーでしめつけ固定します。

注) カメラ取付の際、カメラレンズの周りに壁や金属があると、夜間赤外線の反射光が映像の中に映ることがあります。カメラヘッドを上下左右に回すことで位置が調節できます。(上図参照) 映像内に白っぽい影が入る時は、位置を移動して下さい。



メニューの操作中でも
録画はされます。



このボタンを使います。

動体検知録画とは、動きに反応して録画する機能です。

ＳＤカードが挿入されているか､ＳＤカードのフォーマットを行ったか確認してください。（Ｐ28)

このボタンを押すと、画面右下に「 (赤色)」が表示されます。もう一度押すと消えます。

ライブ映像中以外に「動体検知録画」のボタンを押しても録画はされません。

動体検知録画設定の感度は、「メニュー」→「動体検知」P32 を参照してください。

動体検知録画時間は、「メニュー」→「録画」→「モーション録画時間」P34 を参照してください。

動体検知録画を設定すると、1CH ～ 4CH すべてのカメラが、動体検知録画になります。

※例えば、「1CH のみ動体検知録画をする」というような、カメラ個別での動体検知録画オン / オフはできません。

動体検知について

本機の”動体検知”は、カメラに装備される人感 (熱感) とモーションセンサーによって行われます。

人感センサーは PIR(Passive Infra Red) 赤外線センサーです。

周囲の温度変化を感知して動作する仕組みとなっております。

人感センサー感知エリアは､カメラ正面より前方約 2 ～ 5 メートル※以内､水平約 80 度の範囲となっております。（※感知距離は、外気温によって変わります。夏や雨天時は短く (1 ～ 2m) なります。）

この感知エリア内で、熱 (赤外線) を発生する物体 (人や動物) が移動することによって人感センサーが動作します。この人感センサーは、常に働いています。

モーションセンサーは熱 (赤外線) を発生する物体 (人や動物) 以外に動きがあった時に反応します。

モーションセンサーも使って録画する場合､「動体検知」の設定が必要です。

注 1) 赤外線の変化を感知するため、動物 (犬や猫) によって作動することがあります。

注 2) 感知エリア内であっても、人が全く動かない場合は感知しない場合があります。

注 3) 気温と人の体温が近い場合や、ゆっくりした移動には感知しにくい場合があります。

注 4) センサーに向かって正面より近づく場合は、感知距離が短くなる場合があります。

①人感センサーで録画をしたい場合、下記の操作で設定します。

動体検知録画ボタン	→	動体検知感度の設定（Ｐ32）
オン		オフ

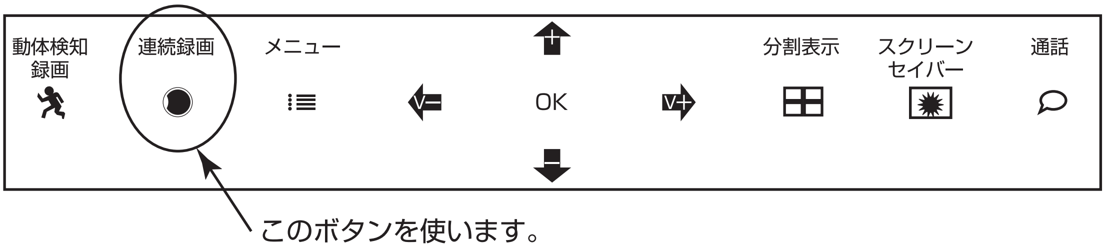
②人感センサーとモーション (動体) 検知の両方で録画をしたい場合、下記の操作で設定します。

動体検知録画ボタン	→	動体検知感度の設定（Ｐ32）
オン		『高』『中』『低』から選択

※モーション (動体) 検知のみでの録画はできません。

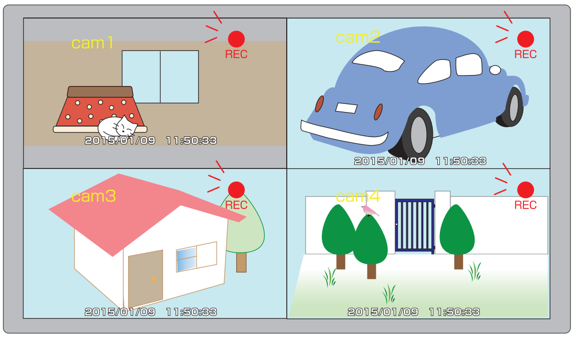
SD カードの録画ファイルがいっぱいになってしまうと、上書き録画が「いいえ」の場合、何度「連続録画ボタン」を押しても REC マークは、表示されません。(録画されません。)
「連続録画」にされたいときは、必ず「メニュー」→「録画」→「上書録画」(P43) より
「はい」を選択してください。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。



連続録画とは､常時録画する機能です。
ＳＤカードが挿入されているか､ＳＤカードのフォーマットを行ったか確認してください。（P28）
この｢連続録画｣のボタンを押すと､画面上に REC マーク「 REC （赤色）」が点滅され、もう一度押すと消えます。 ライブ映像中以外に「連続録画」のボタンを押しても録画はされません。
長時間録画の場合、約 10 分前後毎のファイルに分割して録画を行います。
※ボタンを押してからＲＥＣマークの表示がでるまで数秒時間がかかります。
また、連続録画を解除する場合も同様に、ボタンを押してから REC マークの表示が消えるまで数秒かかります。

SD カードの録画ファイルがいっぱいになってしまうと、上書き録画が「いいえ」の場合、何度「連続録画ボタン」を押しても REC マークは、表示されません。(録画されません。)
「連続録画」にされたいときは、必ず「メニュー」→「録画」→「上書録画」(P43) より「はい」を選択してください。

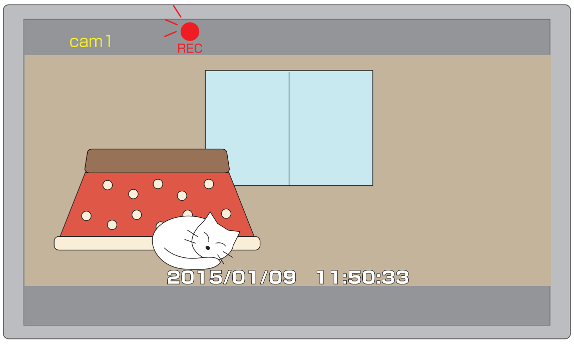


①すべてのカメラを連続録画したい場合

４分割表示時（P54）に、連続録画ボタンを押します。

↓

cam1 から cam4 の全てのカメラに REC マークが表示されます。



②各カメラごとに連続録画の設定をしたい場合

連続録画したい画面を単画面表示にする。（P54）

→ 連続録画ボタンを押す。

↓

選択した cam1 のみ REC マークが表示されます。

連続録画での録画中に停電が発生し、停電が復旧した場合、自動で録画を再開しません。
復旧後、再度連続録画のボタンを押してください。
【 動体検知録画 (P24) もしくは、スケジュール録画（P35）設定の場合は復旧します。】

※SD カードに充分な容量が残っていても、SD カードに保存できるファイル数には上限があるため録画出来なくなることもあります。
上限ファイル数はご使用になっている SD カードのフォーマットによって異なります。

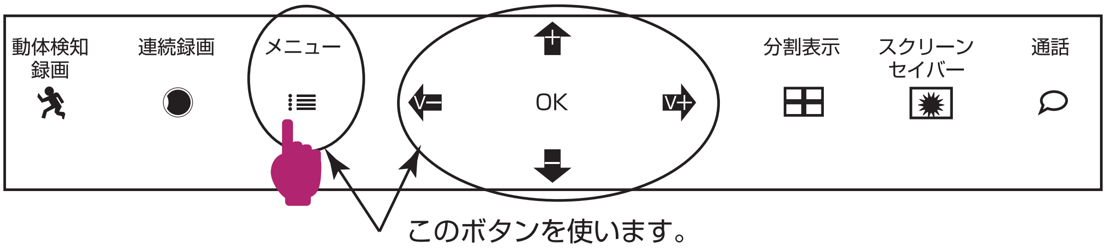
注意）
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

<「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を合わせる>

メニュー ➡ 設定 ➡ 日時設定

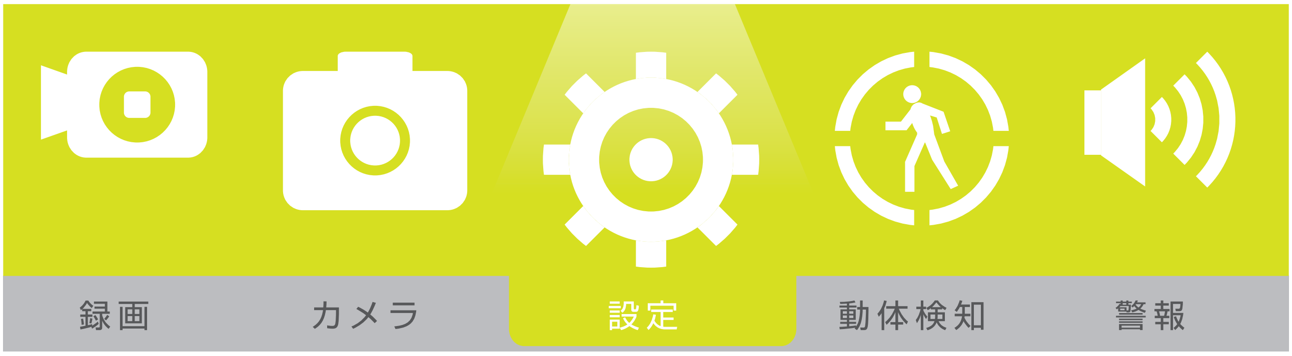
本機内蔵のクロックは水晶発振子を使用している為、時間経過とともに、時計のくるいが生じます。
(電波時計の様に時間合わせはしません。) 従って、本設定によって、定期的な時計合わせを行って下さい。

図 1



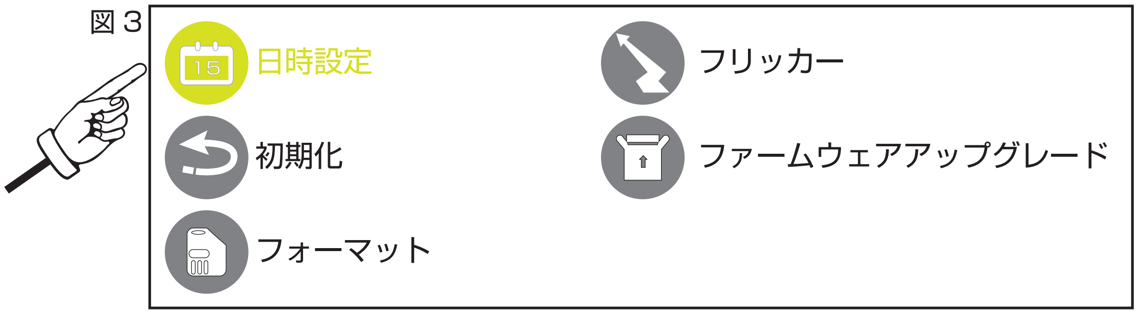
メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

図 2



「設定」が中央にある状態で**「OK」**を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3



「日時設定」が黄緑色になっている状態で**「OK」**を 1 回押します。下記の画面が表示されます。

黄緑色になっている「年」「月」「日」「時」「分」「秒」の数字を「上下矢印」で変更します。

(「上下矢印」は、長押しで早く進みます。)

数字を合わせたら、「左右矢印」で移動します。「OK」を押すと [図 3] に戻り、設定完了です。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

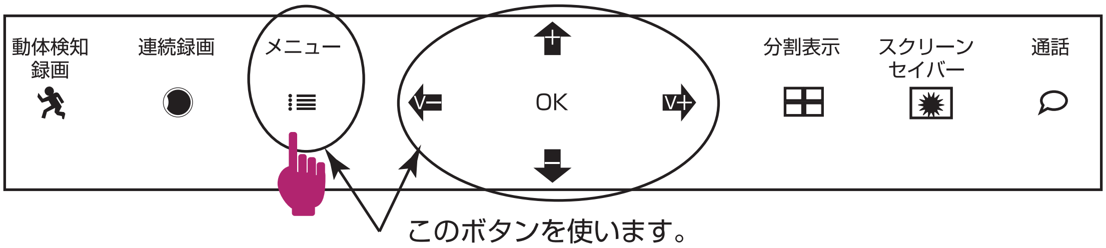
日時設定を反映させるため、
設定後は必ず「OK」を押して
決定してください。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 初期化する (全ての設定を工場出荷時に戻します)>

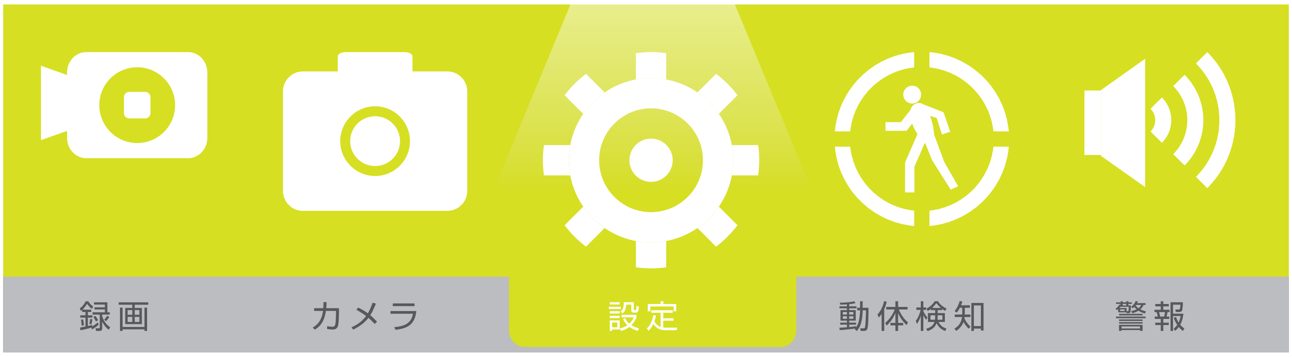
メニュー ➡ 設定 ➡ 初期化 （初期設定の内容は P58 でご確認できます。）

図 1



メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

図 2



「設定」が中央にある状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3

「上下矢印」で「初期化」に移動します。

「初期化」が黄緑色になっている状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面が表示されます。

「上下矢印」で「はい」に移動します。

「OK」を 1 回押すと、本体は初期化され [図 3] に戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

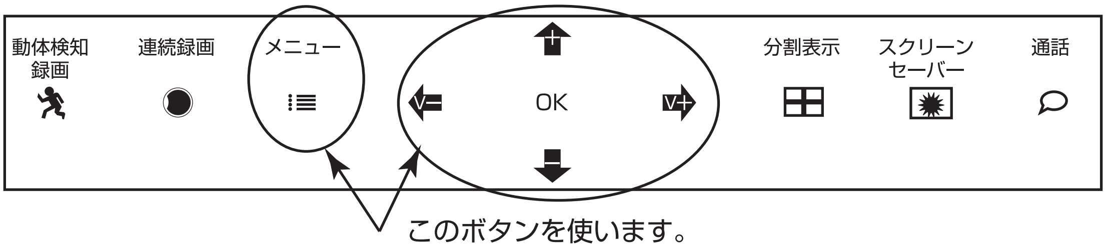
設定は全て工場出荷時に戻ります。

ペアリング / 時刻 / カメラ表示は、お客様が設定された状態のまま維持されます。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

＜ 動 体 検 知 設 定 を す る ＞
メ ニ ュ ー ➡ 動 体 検 知

ここでは映像の変化に対しての感度の設定を行います。(モーションセンサー)

図 1


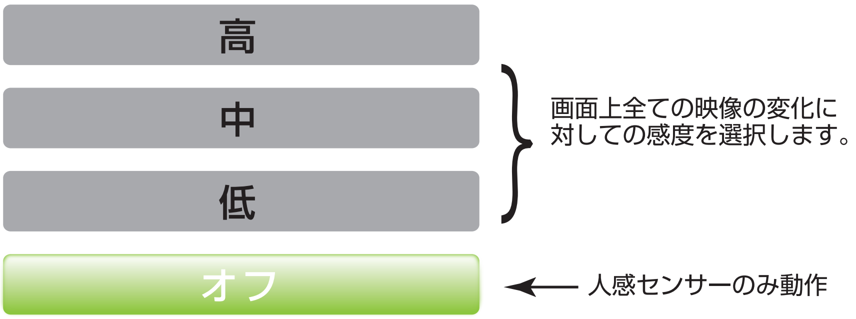
メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

図 2

「V +(右矢印)」を 1 回押して「動体検知」を中央にします。
この状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3

感度をつけたいカメラ 1 ～ 4 を「上下矢印」で選択し、「OK」を 1 回押します。
下記の画面 [図 4] が表示されます。

図 4


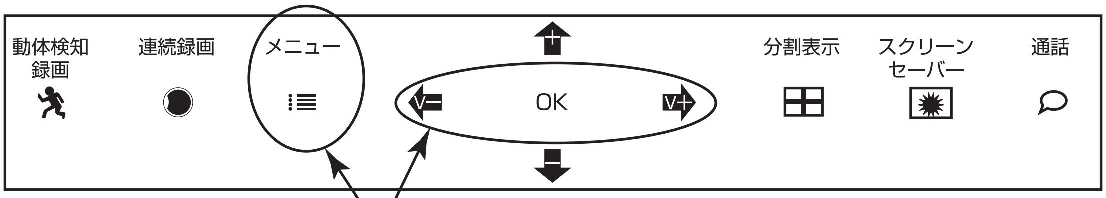
「上下矢印」で「高」「中」「低」「オフ」のいずれかを選択します。「OK」を押すと [図 3] に戻ります。
ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。(初期設定は「低」です)
※カメラの人感センサーは常に働いています。人感センサーのみを動作させたい時は「オフ」を選択してください。
※モーションセンサーのみでの録画はできません。必ず前面パネルの「動体検知録画」ボタンを押して設定して下さい。
※P24「Ⅳパネル基本操作　1. 動体検知録画」も合わせてご覧ください。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

＜ 警 報 を 鳴 ら す ＞

メ ニ ュ ー ➡ 警 報

図 1



このボタンを使います。

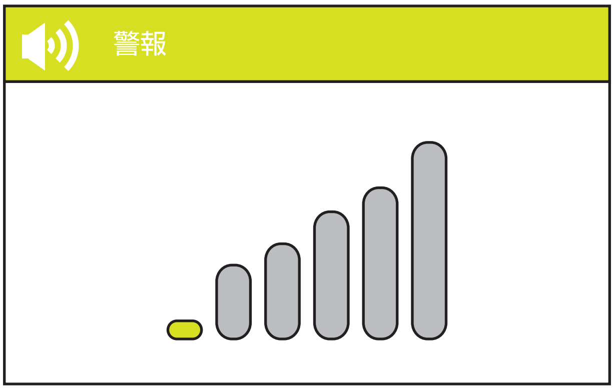
メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

図 2

「V +(右矢印)」を 2 回押して「警報」を中央にします。この状態で「OK」を 1 回押します。

下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3



音量 0 (全て灰色) → 音量 6 (全て黄緑色)

警報の音量を 0 ～ 6 の中から「左右矢印」で選択し (「左右矢印」で移動する毎に音量が確認できます。)、「OK」を 1 回押します。ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。(初期設定は「オフ」です)

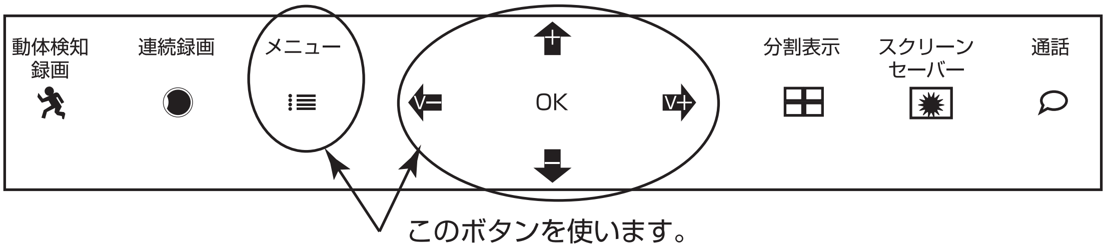
人感センサーは常に働いている為、動体検知感度、動体検知録画をオフにしても、人感センサーが反応すると警報音が鳴ります。(人感センサーはオフにはできません。) 音を止めたいときは、「警報」をオフ (全て灰色) にしてください。(モニター画面に表示されるボリュームアイコンはカメラから聞こえる音量です。警報の音量とは関係ありません。) また、スクリーンセーバー実施中の場合、警報音とともに映像が表示されますが、数秒でスクリーンセーバーに戻ります。スクリーンセーバー中、シーケンシャル中は「カメラ未接続」の表示が出た場合も、警報が鳴ります。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

＜録画の設定をする①　モーション録画時間＞
メニュー ➡ 録画 ➡ モーション録画時間

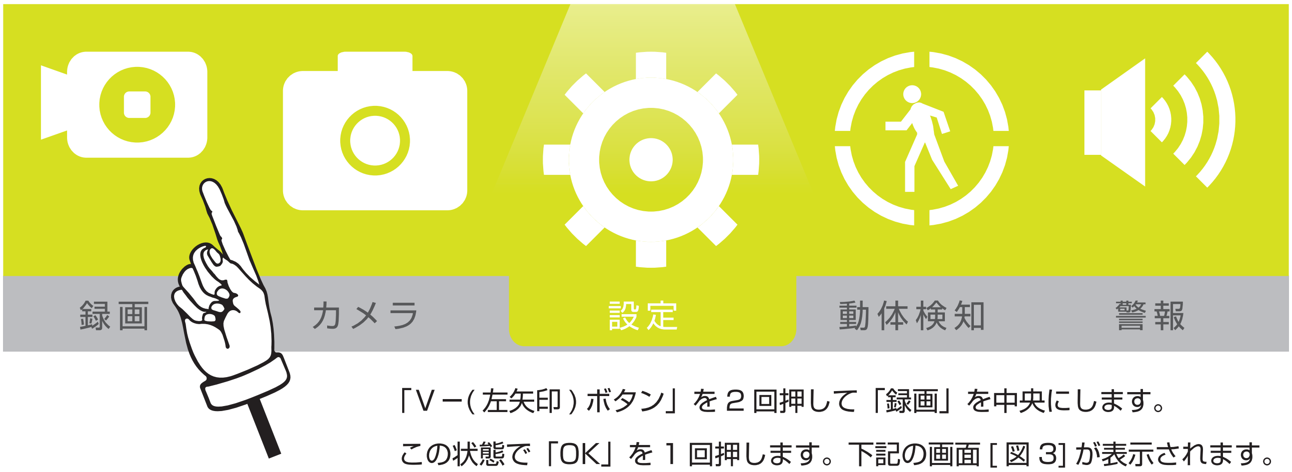
モーション録画時間の設定は、動体検知録画が働き被写体の動きが止まった後の録画時間を設定します。
モーション録画機能にはプリレコーディング機能も搭載しています。
プリレコーディングとは、動きを検知してから　約 10 秒前後　前から録画する機能です。

図 1



メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

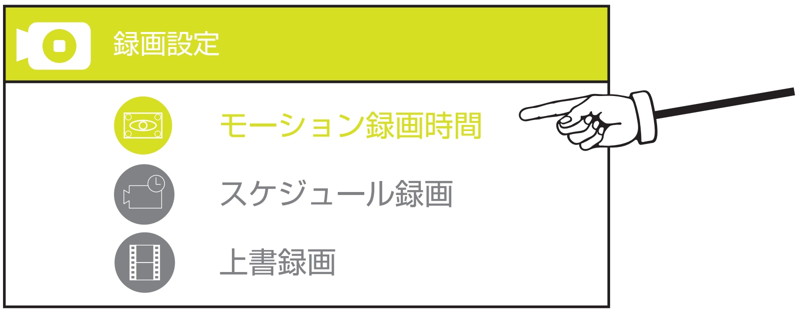
図 2



「V－(左矢印) ボタン」を 2 回押して「録画」を中央にします。

この状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3



「モーション録画設定」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を 1 回押します。
下記の画面 [図 4] が表示されます。

図 4

「上下矢印」で「15 秒」⇔「30 秒」⇔「1 分」を選択します。(初期設定は「15 秒」です。)

「OK」を 1 回押して [図 3] に戻ります。ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

※録画中に再度検知すると、録画時間が延長されます。

※録画時間が 10 分を超える場合は自動的に 10 分毎のファイルに保存されます。

※モーションセンサーのみでの録画はできません。必ず前面パネルの「動体検知録画」ボタンを押して設定して下さい。

※P24「Ⅳパネル基本操作　1. 動体検知録画」も合わせてご覧ください。

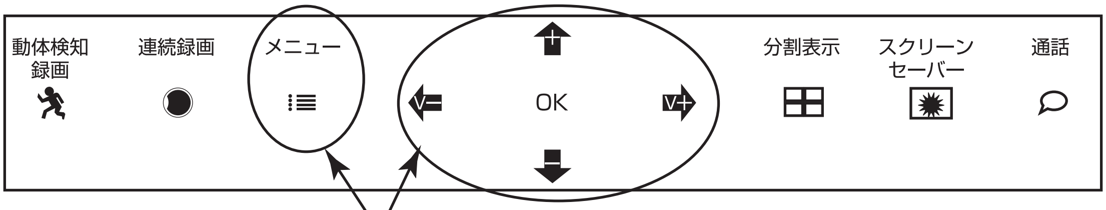
注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< 録画の設定をする②　スケジュール録画その 1-1 >

メニュー ➡ 録画 ➡ スケジュール録画

スケジュール録画の設定は、日時、曜日ごとに「録画する」「録画しない」を設定できます。
(※スケジュール録画設定時間内は、動体検知録画設定をしていても常時録画になります。
スケジュール録画設定時間外は、動体検知録画設定が有効になります。)

図 1



このボタンを使います。

メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

図 2

「V −(左矢印)」を 2 回押して「録画」を中央にします。

この状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3

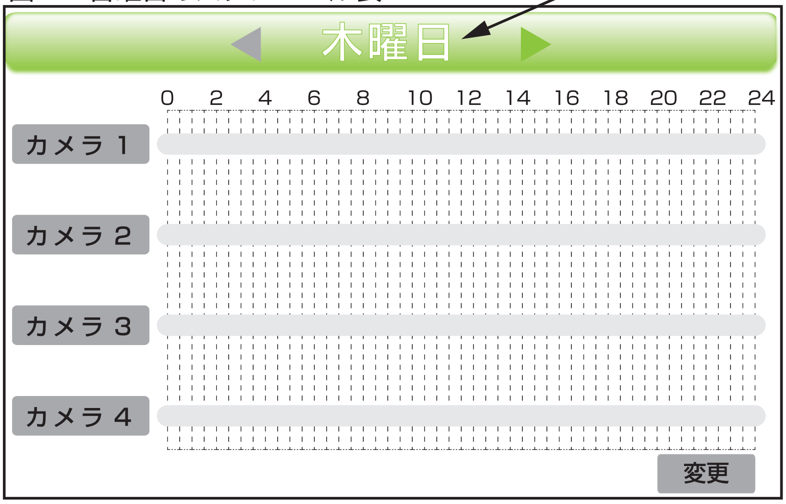
「下矢印」で移動し「スケジュール録画」が黄緑色になっていることを確認し、**「OK」**を 1 回押します。

下記の画面 [図 4：各曜日のスケジュール表] が表示されます。

▼

本日の曜日が表示されます。

図 4：各曜日のスケジュール表



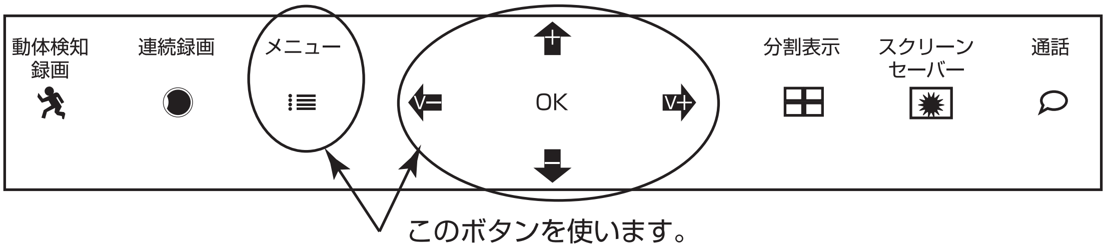
注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

＜録画の設定をする③　上書録画＞

メニュー ➡ 録画 ➡ 上書録画

上書き録画の設定は、SD カードの残量が無くなってしまった時に、最も古い録画データファイルを順に消し、新しいデータファイルを随時録画する事ができる機能です。

図 1



このボタンを使います。

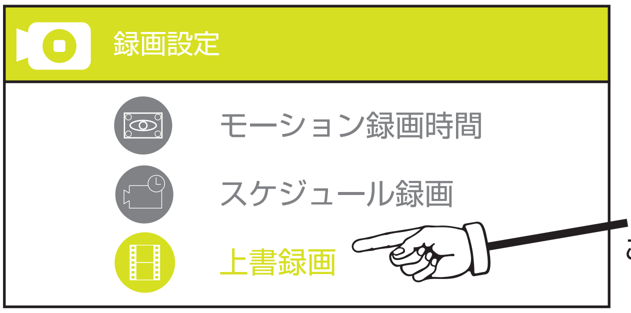
メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

図 2

「V ー(左矢印)」を 2 回押して「録画」を中央にします。

この状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3



これを選択します。

「下矢印」で「上書録画」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を 1 回押します。

下記の画面 [図 4] が表示されます。

図 4

「下矢印」で「はい」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を 1 回押します。

これで上書録画されるようになり、[図 3] に戻ります。(初期設定は「いいえ」です。)
※上書き設定を「はい」にしていると、「連続録画」が設定できます。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

Ⅳ. パネル基本操作　3. メニュー　3-5. カメラ　3-5-1. ペアリング

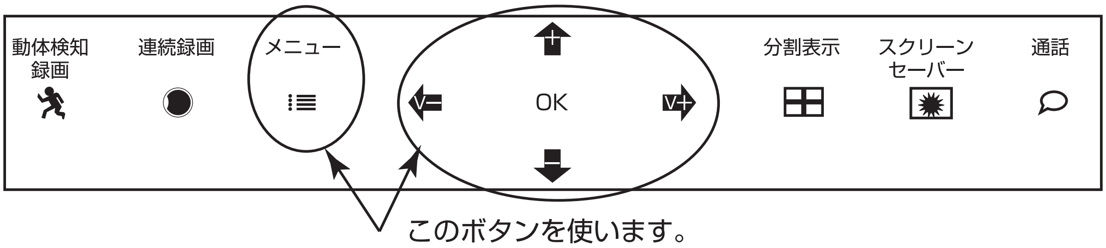
＜カメラの設定をする①　ペアリングその１＞

メニュー➡カメラ➡ペアリング

※初期設定は
ペアリング済みです。

ペアリングとは、モニターとカメラをワイヤレスで接続することです。
※新しいカメラやカメラ映像の配置を変えたいときは、カメラ番号を選択して設定することができます。

図 1



メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

図 2

「V −(左矢印)」を 1 回押して「カメラ」を中央にします。

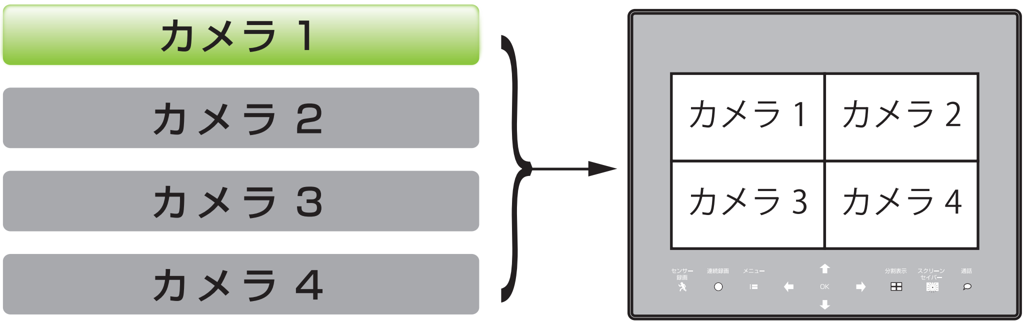
この状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3

「ペアリング」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を 1 回押します。

下記の画面 [図 4] が表示されます。

図 4



※ペアリングで選択したカメラは、
上図の並びになります。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

＜カメラの設定をする①　ペアリングその２＞

メニュー ➡ カメラ ➡ ペアリング

「上下矢印」でペアリングしたいカメラを「カメラ 1」～「カメラ 4」より選択し「OK」します。

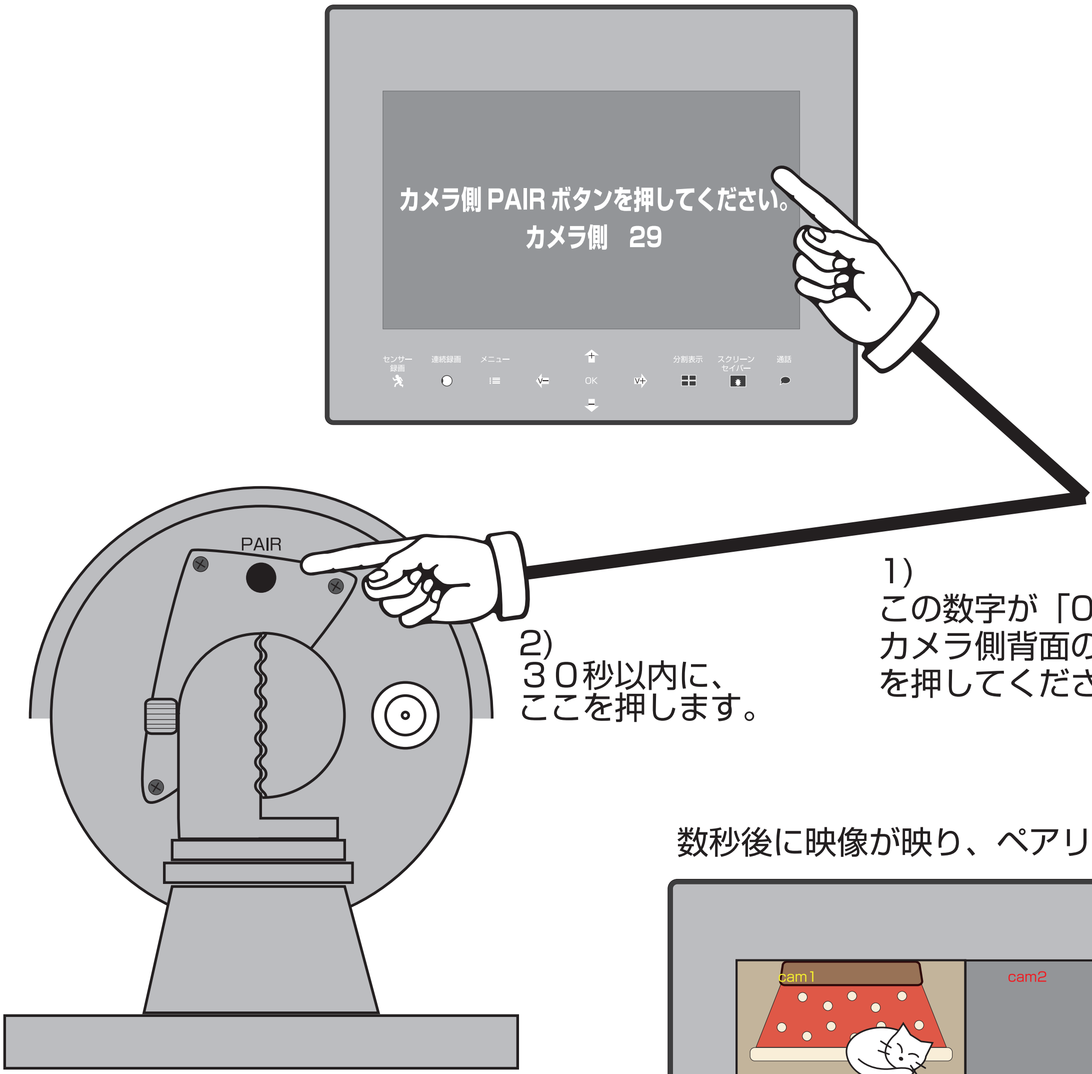
カメラ側 PAIR ボタンを押してください。のメッセージとともに、30 秒のカウントダウンが始まります。

この 30 秒の間にカメラの背面にある PAIR ボタンを押してください。

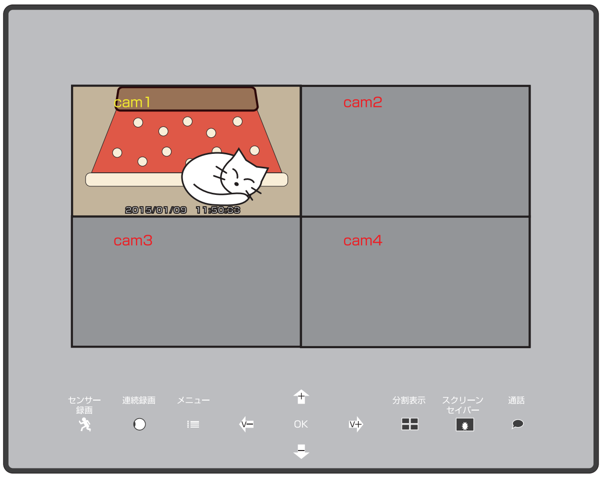
押した後数秒で、ライブ映像が映ります。

※カメラ映像の配置を変えたいときは、カメラ番号を選択し、同じ動作を行ってください。

[前頁図 4] よりカメラ番号を選択して「OK」を押すとカウントダウンが始まります。



数秒後に映像が映り、ペアリング完了です。



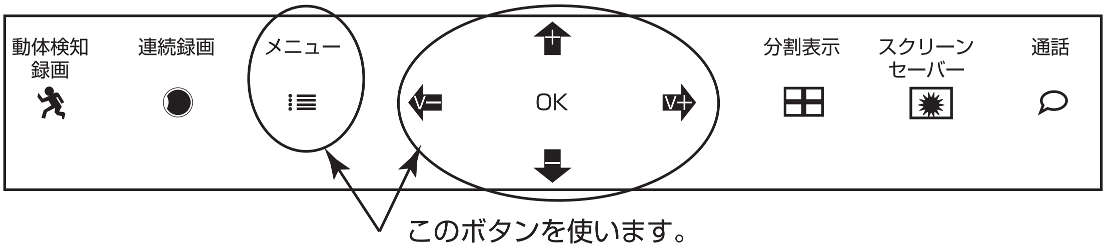
注意）
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

＜カメラの設定をする②　カメラ表示＞

メニュー➡カメラ➡カメラ表示

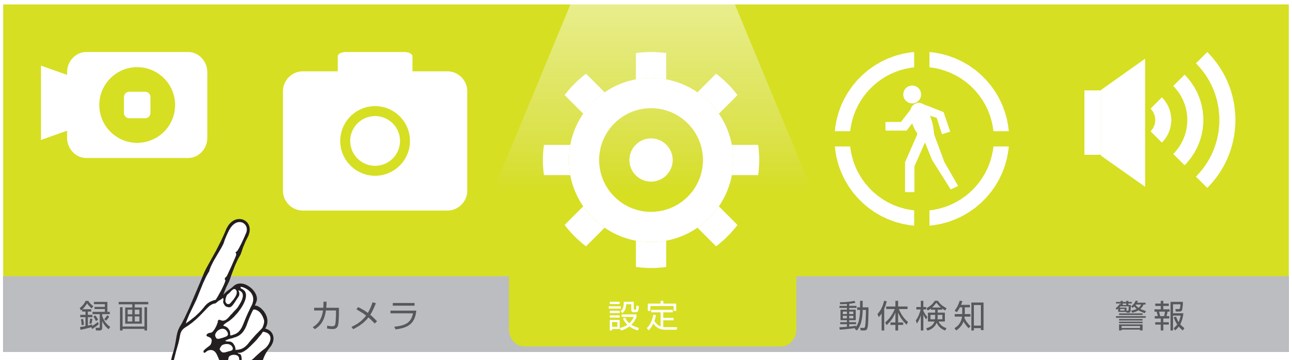
カメラ表示の設定は、ペアリング済みのカメラも「オン / オフ」にすることで「表示 / 非表示」にできます。
1～2台のカメラが「オン」の場合は「2分割画面」もしくは「1画面」になります。
3～4台のカメラが「オン」の場合は「4分割画面」もしくは「1画面」になります。
(図4の様な設定の場合は「2分割画面」もしくは「1画面」になります。)

図1



メニューボタンを押すと、下記の画面[図2]が表示されます。

図2



「V－(左矢印)」を1回押して「カメラ」を中央にします。
この状態で「OK」を1回押します。下記の画面[図3]が表示されます。

図3

「下矢印」を1回押し「カメラ表示」が黄緑色になっていることを確認し、「OK」を1回押します。
下記の画面[図4]が表示されます。

図4

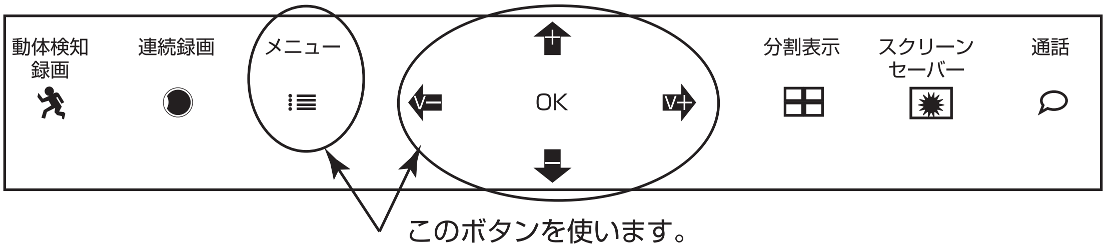
「左右矢印」で「オン」⇔「オフ」切り替えをします。「オン / オフ」選択後「OK」すると、
「しばらくお待ちください。」のメッセージが表示され、[図3]の画面に戻ります。
ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。(初期化をしてもお客様の設定内容は維持されます。)

注意)
※操作がないと、約20秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< カメラの設定をする④　解像度その 1 >
メニュー ➡ カメラ ➡ 解像度

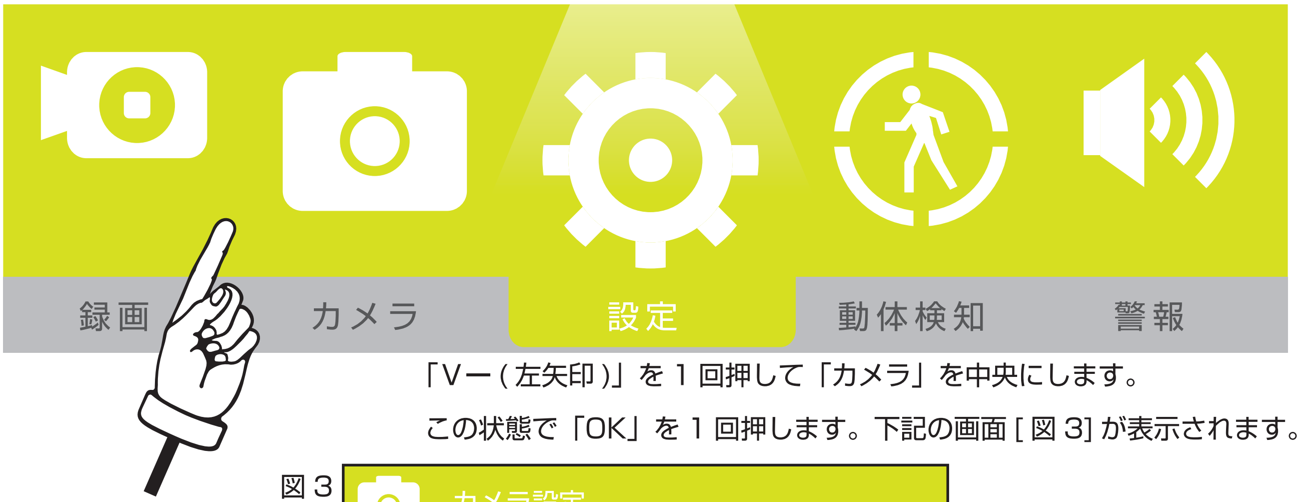
解像度の設定は、フル画面で約 30 万画素の VGA 出力と、ワイド画面で約 100 万画素の HD 出力の二通りが選択できます。(ライブ映像のズーム機能は、VGA のみです。)

図 1



メニューボタンを押すと、下記の画面 [図 2] が表示されます。

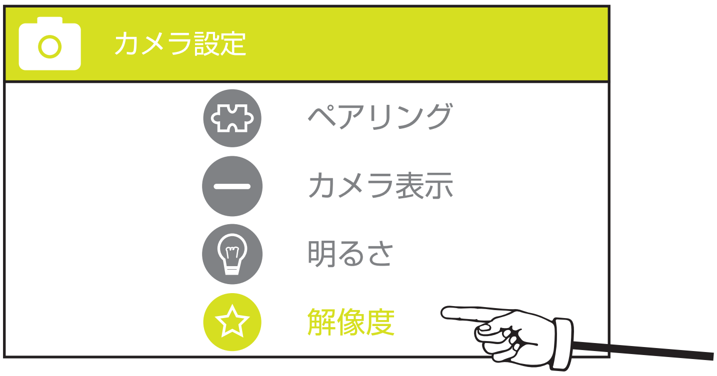
図 2



「V ー (左矢印)」を 1 回押して「カメラ」を中央にします。

この状態で「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 3] が表示されます。

図 3



「上矢印」を 1 回押し「解像度」が黄緑色になっていることを確認し、

「OK」を 1 回押します。下記の画面 [図 4] が表示されます。(初期設定は「VGA」です。)

図 4

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

< カメラの設定をする④　解像度その 2 >

メニュー ➡ カメラ ➡ 解像度

VGA、HD では録画可能時間もそれぞれ異なります。HD 解像度で設定すると、パソコンにて録画再生した場合、より鮮明で綺麗な映像で再生ができますがフレーム数は最大 15 フレームの為、VGA よりカクカクした動画になり、録画時間は VGA より短くなります。
下記 VGA、HD の特徴・比較表を参考にお好みに合わせて選択してください。

VGA、HD の特徴

解像度	映像	動画の滑らかさ	目安録画時間 カメラ 1 台、SD64GB の場合
VGA	30 万画素相当	最大 30fps	165 時間
HD	100 万画素相当	最大 15fps	72 時間

※カメラの台数に反比例して録画時間数が減ります。(フレーム数も減ります。また、フレーム数は環境によっても変動します。)

HD、VGA の比較

◯映像の綺麗さ・鮮明さ※:　HD>VGA

◯動画の滑らかさ：　HD<VGA

◯録画の可能時間：　HD<VGA

※(パソコンで再生すると、より違いがはっきりでます)

VGA と HD の映像の違い

カメラ２台非表示の場合

カメラ 3 台以上表示の場合

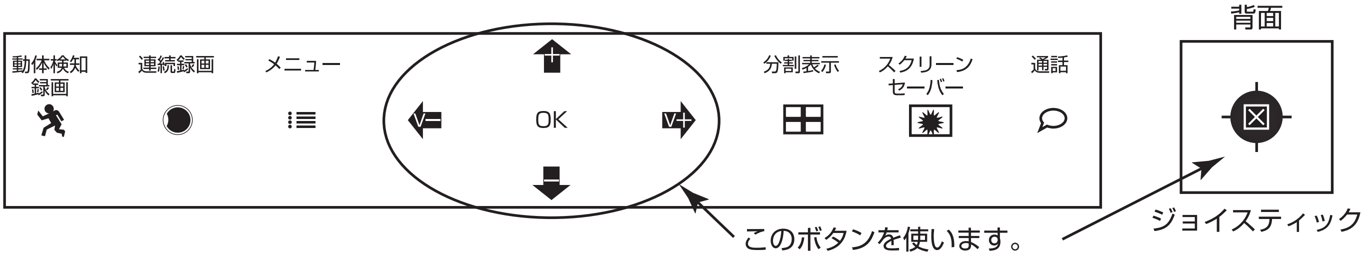
図 5

「左右矢印」で「VGA」⇔「HD」を選択し「OK」します。図 3 の画面に戻ります。

ライブ映像に戻る時は、メニューボタンを押していきます。

注意)
※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。
※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

再 生 す る　 そ の ３



V- V+	音声ボリューム選択
↑ ↓	↑ 一時停止⇄再生　　↓ 停止
左 ⊠ 右	停止時 : 前後のファイルへ移動
	再生時 : 巻戻し (左)×1/×2/×4/×8/×16
	再生時 : 早送り (右)×2/×4/×8/×16
	再生リスト時 : 前後のページ移動

※モニターを見ながらスティックを動かした場合の「左右」で記載しております。

［参考図］

	再生
	一時停止
	停止
1×	巻戻し
2×	2倍速巻戻し
4×	4倍速巻戻し
8×	8倍速巻戻し
16×	16倍速巻戻し
2×	2倍速早送り
4×	4倍速早送り
8×	8倍速早送り
16×	16倍速早送り

録画ファイル時間について

①動体検知録画の場合

モーション録画時間で設定した「15 秒」「30 秒」「1 分」で選択したファイル時間になります。

ただし途中で再生ボタンを押した録画データファイルは、それ以下のファイル時間になる場合もあります。

また、「再生リストのファイル名・時間」と「再生画面中央に表示されている開始時間」は、異なります。

画面中央の時刻 : プリレコーディングの開始時刻

ファイル名・時間 : 動きを感知した瞬間の時刻

※プリレコーディング再生中は、音声がリピートされたり映像が若干乱れることがあります。

②連続録画もしくはスケジュール録画で、長時間録画設定した場合

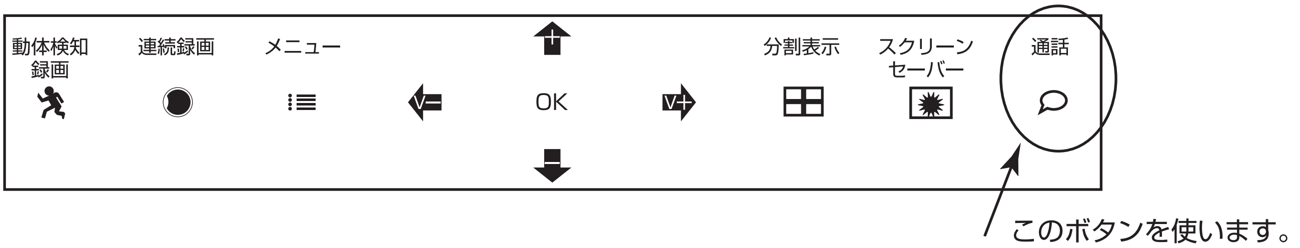
最大 10 分前後のファイルになります。

注意)

※操作がないと、約 20 秒でライブ映像に切り替わります。

※一つ前に戻るときは、「メニューボタン」を押してください。

カ メ ラ に 向 か っ て 話 す

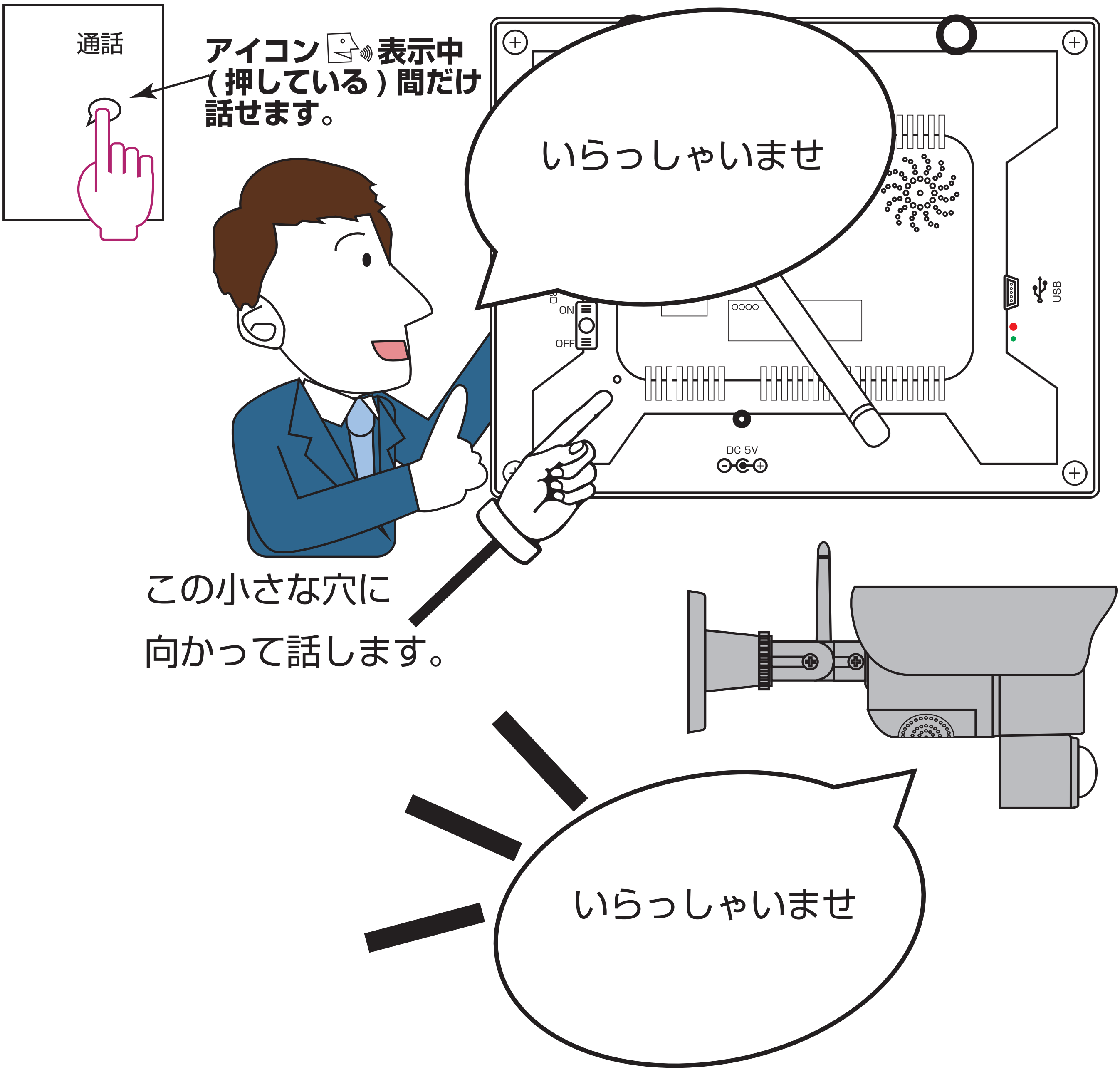


この「通話」ボタンを押すとモニター上に のアイコンが表示されます。

単画面の時、カメラ側に向かって話す時に使用します。

前面パネルの「通話」**アイコンを押している間だけ**通話アイコン が表示されています。

アイコン表示中にマイクに向かってお話ください。(若干タイムラグがあります。)



トラブルシューティング

症状	原因と対策
フリーズして操作できなくなった	モニターの電源をスライドで切り入りして再起動してください。
モニターにカメラ映像がでない	カメラに電源が入っていない場合 1. 文字表示のない黒い画面 カメラの AC アダプタの抜き差しし、モニターの電源をスライドで切り入りして再起動してください。 カメラ表示を「オン」にしてください。（P46） 2. カメラ未接続と表示されている画面 ペアリングに失敗した場合（P44） 降雨時や降雪時は受信状況が悪くなる場合があります。
受信状況が頻繁に悪くなる	1. 近隣に電波塔や工場、基地等がある場合 2. 電波に干渉を及ぼす機器を使用中の場合
ペアリングができない	モニターをカメラの近くに置き、 ペアリングを行ってください。（P44）
夜間の映像が白くなる	設置したカメラの近接物に赤外線が反射していますので、 近接物を除去するかカメラの設置場所を変更してください。 カメラの表面ガラスの汚れを清掃してください。
映像明暗のちらつき	フリッカー設定がされていない場合（P29）
モニターから『キーン』や『ピー』などの音がする	ハウリングやノイズを発生する場合があります。 機器の故障ではありません。モニターの音量を下げて ご使用ください。
録画がされていない	1. 再生中は録画されません。 2. SD カードのデータがいっぱいになった場合、上書き録画の設定をしてください。(P35) 連続録画の設定で録画中の場合、SD カードのデータがいっぱいになったら、録画は止まり、録画解除されます。 上書き録画設定をして、連続録画のボタンを押してください。(P35) 3. SD カードが挿入されていない場合 SD カードは最大 64GB です。 64GB 以内の SD カードをご使用ください。 4. 本機器で始めに SD カードをフォーマットしていない場合（P28） 5. 録画を行いたいカメラの『カメラ表示』がオフになっている場合(P46) 6. 連続録画の設定で録画中の場合、停電が発生したら録画はとまり、録画解除されます。停電復旧時、録画は開始されませんので、手動で連続録画のボタンを押してください。 なお、停電時でも自動で録画を開始したい場合はスケジュール録画の設定をして録画してください。（P35） 動体検知録画ボタンを押していても復旧後動作します。(P24) 7. カメラの AC アダプタの抜き差しをして再起動してください。

トラブルシューティング

症状	原因と対策
再生リストが表示されない	カレンダーの画面でカメラ番号がオン（決定）になっていない場合（P50） ※カメラ番号を設定した後の移動は、必ず「左右矢印」をご使用ください。
再生中に映像が止まったり、映像が乱れる	再生を停止して、一度再生リスト画面に戻り、再度そのファイルを選択して、再生してください。
時刻がずれる	表示時間は、数か月で若干のずれが生じます。時刻の修正を定期的に行ってください。（P26）
時刻調整しても時刻が合わない	カメラの AC アダプタの抜き差しをして再起動してください。 ※複数台設置中の場合、それぞれのカメラの時刻表示にズレが生じることもありますが、ワイヤレスの特性上のため故障ではありません。
動体検知機能が正しく働かない	1. 動体検知録画がオフになっている場合（P24） 2. 動体検知感度を『高』もしくは『中』に設定してください（P32）
カメラ映像が他のカメラ映像に勝手に切り替わる	シーケンシャル機能になっています（P54）

初期設定の内容

フリッカー	60Hz
モーション録画	15 秒
スケジュール録画	オフ
上書録画	いいえ
警報	オフ
カメラ表示	オン 2 台、オフ 2 台（初期化後はお客様の設定済みの内容が維持されます）
明るさ	3
解像度	VGA
動体検知	低
日時設定	お客様ご自身で設定していただきます。 (初期化後はお客様の設定済みの内容が維持されます)
ペアリング	カメラ 1 のみ設定済み (初期化後はお客様の設定済みの内容が維持されます)